きっと来るその日に備えて耐震化

安価で信頼できる木造住宅の「耐震改修工法・装置」の事例紹介

南関東では今後 30 年以内にマグニチュード 7 程度の大地震が発生する確率が 70%!!

マグニチュード 7.3 の地震が東京湾北部で起こった場合、都内の建物約 280 万棟のうち、約 11.6 万棟が全壊、約 32.9 万棟が半壊と予測されています。

地震による死者の約 9 割が建物倒壊等による圧迫死

平成7年に発生した阪神・淡路大震災では、地震による直接的な原因での死者数が約 5,500 人で、そのうちの約 9 割もの人が住宅・建築物の倒壊等による圧迫死であったとされています。また、昭和 56 年以前の古い基準で建築された建築物に大きな被害が見られました。

命を守るためには耐震改修を!

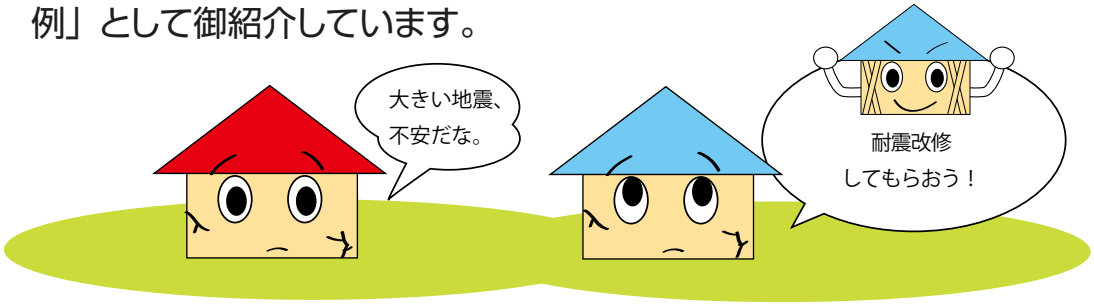
もし、直下型の大地震が来たら身動きすることも困難です。地震による木造住宅の倒壊から自分や家族の命を守るためには、耐震診断をし、必要に応じて壁や筋交いを増やしたり、金物で柱やはりを固定する等の耐震改修を行うことが大切です。

東京都都市整備局

きっと来るその日に備えて耐震化

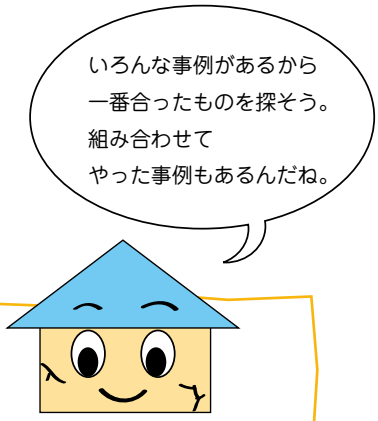
安価で信頼できる木造住宅の耐震改修工法・装置の事例紹介

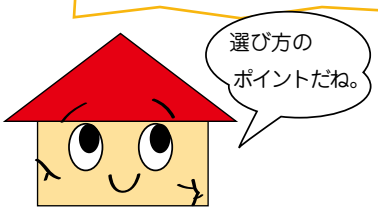
東京都は、木造住宅の耐震改修の実施例や地震から命を守るための装置について広く募集し、学識経験者・実務経験者等で構成する評価委員会の審査により一定の評価を受け選定された事例を「安価で信頼できる木造住宅の耐震改修工法・装置の事例」として御紹介しています。



選定にあたっての主なポイント

- ○ **強度が十分に確保されていること。**
- ○ **安価であること**
- ○ **簡便であること。**
- ○ **汎用性が高い物であること。**





事例紹介の内容

実際に耐震改修を行った1事例について、
工期や工事費などを掲載しています。
紹介した工法以外の補強工事と
組み合わせている場合もあります。

耐震改修工法・装置は多種多様にありますが、一つの基準だけで順位をつけることはできません。これは所有者の意向や改修対象となる木造住宅の特性・状態などにより、最適な改修方法が異なるためです。今回の事例の紹介に当たってはこうした事情を踏まえ、以下のグループ分けをしています。御自宅の耐震改修等を検討する際の参考にしてください。

目　　次

安価で信頼できる木造住宅の耐震改修工法・装置の事例紹介

● 耐震改修工事を始める前に

耐震改修における流れ ……P3
耐震化総合相談窓口などの紹介 ……P4
耐震診断とは ……P5 ～ P6
補強設計とは ……P7
耐震改修工事とは ……P8 ～ P10
助成制度について ……P10

● 平成26年度に選定された事例

耐震改修工法部門 …… P11 ～ P15
装置部門 …… P16 ～ P17

● 平成25年度に選定された事例

耐震改修工法部門 …… P18 ～ P25
装置部門 …… P25 ～ P29

● 平成17年度から平成21年度に選定された事例

耐震改修工法部門
1　壁補強①(内壁、外壁)……P30
　　パネルタイプ ……P30
　　筋交いタイプ ……P31
2　壁補強②(外付け)……P32
3　壁補強③(接合部・部材補強との組合せ)……P32
4　接合部・部材補強……P33
5　ポール、ワイヤー等による補強……P34
6　フレーム補強……P34
7　シェルター補強……P34
8　制震……P35
9　免震……P36

装置部門
1　ベッドを安全空間にするシェルター……P37
2　部屋の一部を安全にするシェルター……P37

アイディア部門 …… P38～ P39

● 問合せ先　一覧 …… P40～ P42
● 耐震改修工事とリフォーム …… P43～ P44
● 耐震マークについて……P45
● 税制上の優遇措置について……P46
● 区市町村問合せ先等一覧……裏表紙

耐震相談

我が家の耐震…さて、どこに相談すればよいのかしら？

建物のある区市町村の耐震担当窓口へ相談 （お問合せ先は裏表紙）

※各種助成制度が利用できる場合がありますので、まず区市町村へご相談ください。

東京都の耐震化総合相談窓口へ相談 （お問合せ先は4ページ）

※「誰に頼むの？」「耐震とは？」「どうやって進めるのか？」「どんな方法があるの？」など基本的なことから技術的なことまでご相談できます。

ステップ1 ＜耐震診断＞

予備調査

↓

現地調査

↓

現地調査や図面を基に耐震性能の評価

↓

報告書を作成

- **どのくらいの時間がかかるの？**
  →現地調査は半日程度、全てで約2～3週間程度（建物の規模や形状などにより異なります。）
- **費用はどのくらいかかるの？**
  → １０～２０万円程度（木造在来工法２階建て図面有り）
- **建物を建てた時の図面は必要なの？**
  → 耐震性能を評価するために必要です。紛失してしまった場合は、復元が必要です。

ステップ2 ＜補強設計＞

耐震改修計画

↓

補強設計

- **どのくらいの時間がかかるの？**
  →全てで約2～3週間程度（建物の規模や形状などにより異なります。）
- **費用はどのくらいかかるの？**
  → １棟当たり３０万円程度

ステップ3 ＜耐震改修工事＞

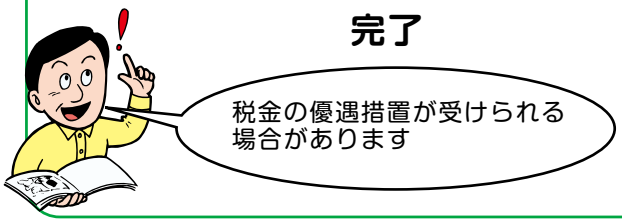
見積り

↓

耐震改修工事

↓

完了



- **どのくらいの時間がかかるの？**
  →通常1週間から1か月程度（工事の方法により異なります。）
- **費用はどのくらいかかるの？**
  →約１５０万円～２００万円程度（工事の方法により異なります。）

耐震化総合相談窓口のご案内

(公財)東京都防災・建築まちづくりセンター

耐震相談室 03-5778-2790

相 談 日　月～金、第1土曜及び第3日曜(祝日、年末年始は休業)
相談時間　午前9:00～午後5:00、水曜日は午後7:00
（受付は、午後6:00まで）
相 談 料　無料
所 在 地　渋谷区渋谷2-17-5シオノギ渋谷ビル8階
アクセス　「渋谷駅」より徒歩約6分

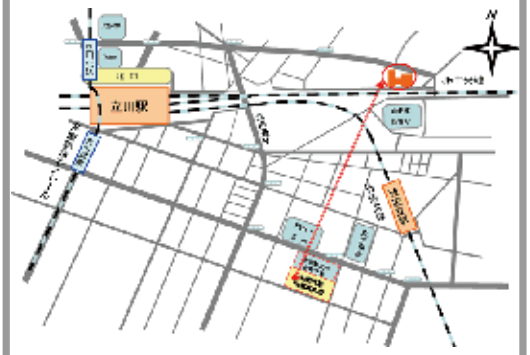
相談に際しては混雑することもありますので、できるだけ電話予約の上お越しくださるようお願いします。

多摩地域の相談窓口

平成23年4月から、多摩地域の立川と小平に、相談窓口を開設しました。混雑することもありますので、耐震相談室 (03-5778-2790) に事前にお問い合わせください。

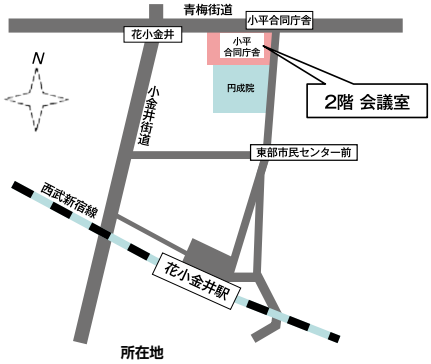
東京都立川合同庁舎 分庁舎会議室

毎月第２木曜日（休日の場合は翌営業日）
午前 10 時から午後 4 時まで



東京都小平合同庁舎会議室

毎月第４木曜日（休日の場合は翌営業日）
午前 10 時から午後 4 時まで



所在地
東京都小平市花小金井 1-6-20
西武新宿線花小金井駅から　徒歩約 7 分

東京都耐震ポータルサイト

インターネットを通じて、耐震診断や耐震改修に関する情報などを提供しています。

耐震キャンペーンや展示会などのイベント情報や都民が安心して耐震診断や設計を依頼できるよう一定の要件を満たす事務所の情報等を公開しています。

http://www.taishin.metro.tokyo.jp/

東京都耐震ポータルサイト　検 索

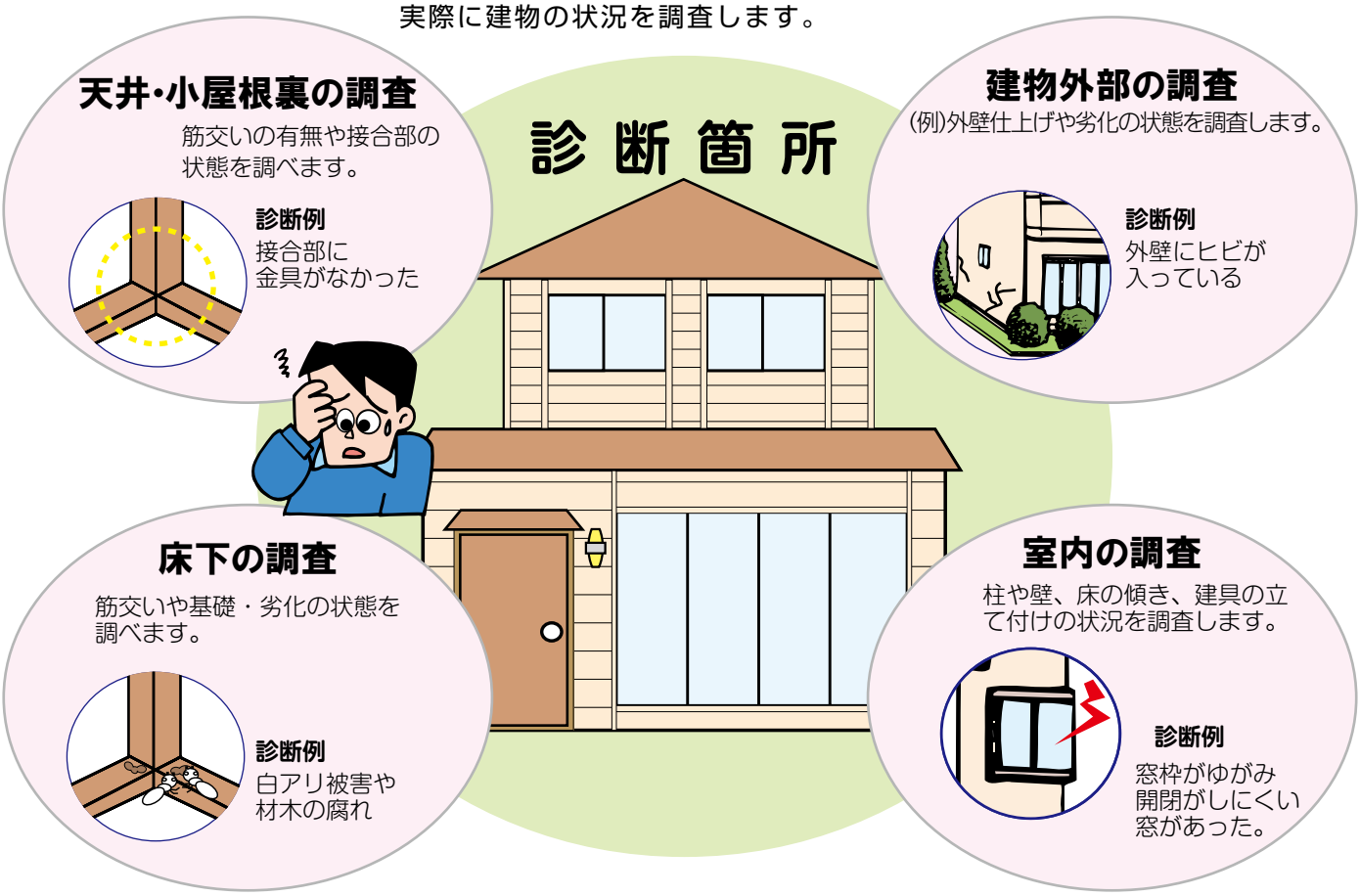
ステップ1 ＜耐震診断＞

予備調査

- 設計図書の有無の確認 ※診断を依頼する前に設計図書は探しておきましょう。
- 違法建築の有無の確認
- 耐震診断の要否の判断
- 耐震診断の方法（一般診断、精密診断）の選定

現地調査

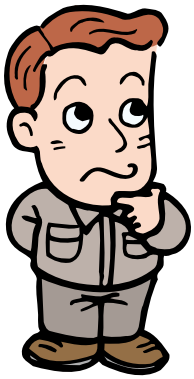
実際に建物の状況を調査します。



屋根瓦の葺（ふ）き土の有無を調査

下げ振りで柱の傾きを調査

基礎のひび割れを調査



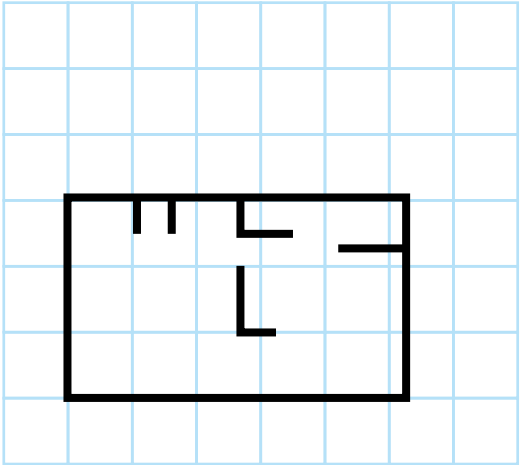
柱脚の腐朽を調査

小屋裏から筋交いの取付け状況や羽子板ボルトの有無を調査

土台の腐朽度合いを調査

写真提供：（有）前田総合建築設計

耐震性能の評価



- 耐震診断とは既存建物が地震の揺れに対して崩壊しないかどうかを見極めるための調査です。
- 上部構造評価点の結果により、下表のように判断します。

上部構造評価点	判　　定
1.5 以上	倒壊しない
1.0 以上～ 1.5 未満	一応倒壊しない
0.7以上～ 1.0 未満	倒壊する可能性がある
0.7 未満	倒壊する可能性が高い

耐震診断の費用は？

耐震診断の費用は、建物の設計図の有無や建物の形状又は築年数により異なりますが、おおむね右のとおりです。

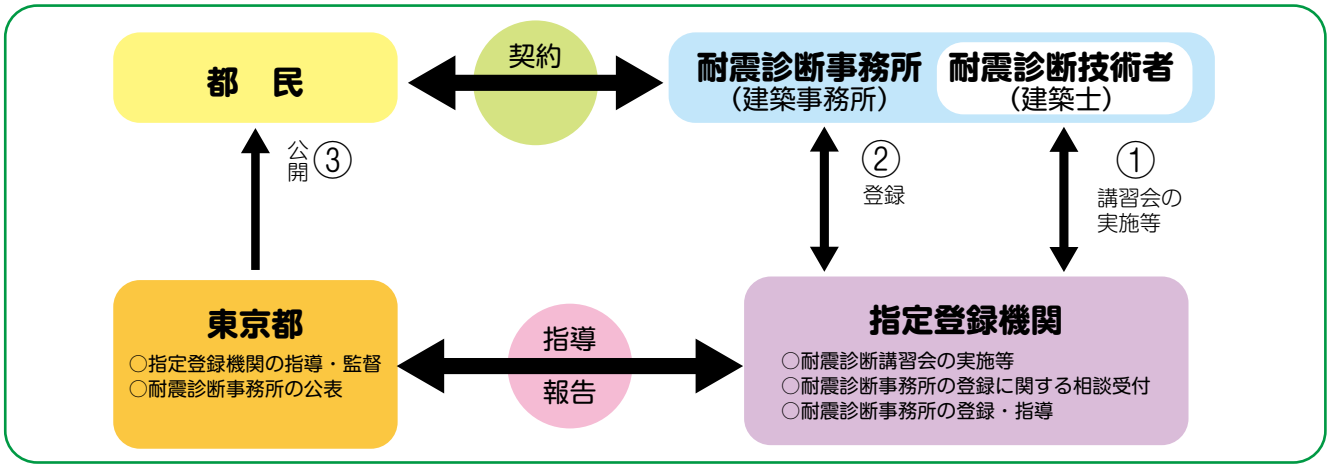
木造在来工法 2 階建て
（設計図あり）
10 ～ 20 万円

東京都木造住宅耐震診断事務所登録制度

木造住宅の耐震化に当たっては、適正な耐震診断を実施し、住宅の耐震性能を正しく評価することが重要です。そのため、木造住宅の耐震診断及び補強設計について、一定水準の技術があると認められる建築士事務所を登録・公表し、都民の皆さんが安心して耐震診断、耐震改修を実施できるようにするものです。

東京都木造住宅耐震診断事務所登録制度　検索

○指定登録機関が実施する耐震診断講習会を受講し考査に合格した建築士（耐震診断技術者）が所属する登録耐震診断事務所は、578事務所になります。(平成 26 年 1 2 月1日現在)



ステップ2 ＜補強設計＞

●なぜ、耐震改修工事が必要か？

平成７年に発生した阪神・淡路大震災では、地震による直接的な原因での死者数が約 5,500 人であり、そのうち約９割もの人が住宅、建築物の倒壊などによる圧迫死であったとされています。住宅などの倒壊により火災が発生する危険性や救助活動などの妨げになることもあります。皆さまや家族の生命・財産を守るためにも耐震改修を行いましょう。

●補強設計とは？

耐震診断によって耐震性能が十分でないと判断された場合には、耐震改修を実施しましょう。耐震改修を行うには、まず補強設計を行うこととなります。

補強設計とは、目標とする耐震性能を定め、施工の条件、コスト、工期などから耐震改修工法を選定し、目標とする耐震性能を実現する設計（構造計算、図面作成等）を行うことです。

●要望を伝えましょう

- 外部からだけの工事にしてほしい。
- 窓などの開口部は残したい。
- 助成金を利用したい。
- 外観を変えたくない。
- ついでに内装のリフォームもしたい。
- 補強工事のために、一時的な引っ越しなどはしたくない。

補強設計業務の項目	金　　額
耐震補強設計図書作成、 上部構造評点等の計算書、 工事概算見積書	１棟当たり 約 30 万円程度

耐震シェルターという方法

比較的安価に命を守ることができる装置です。
住宅の地震対策は耐震補強が最も効果的です。しかし、経済的な理由などで大がかりな耐震改修ができない場合に、家屋が倒壊しても一定の空間を確保することで命を守る装置として「**耐震シェルター**」があります。

耐震シェルターは、既存の住宅内に設置し、地震で住宅が倒壊しても寝室や睡眠スペースを守ってくれる装置です。住みながらの工事や、耐震改修工事に比べて短期間での設置も可能です。

27ページ
木質耐震シェルター

※各装置の強度については、装置ごとに異なりますので、詳細は各メーカーにお問い合わせください。

ステップ3 ＜耐震改修工事＞

● 耐震改修工事とは？

現地調査などの耐震診断結果を基に住宅に最適な補強設計で作成します。その図面を基に実際に補強のための工事を行うことです。

● 見積り

補強設計の内容に基づく補強工事費の見積りは、複数の業者から取ることをお勧めします。

良い見積もりのポイント

- どのような工事種別であるかが分かること。
  （耐力壁の新設、 基礎の補強、 劣化の補修など）
- どこの部分の工事であるかが分かること
- どのような見積内容であるかが分かること。
  （工事内容、 仕様、 数量、 単位など）

○○邸　耐震改修工事　見積書

名称	仕様	数量	単価	金額

壁を剥がしてみて初めて分かる劣化などにより、工事開始後に変更になる場合もありますので、その都度費用を確認しましょう。

総額の目安

耐震改修工事の総額は、在来工法（構造用合板や筋交いによる補強）で標準的な評点差の場合（補強前 0.5 程度～補強後 1.0 程度）は、約 150 万円～ 200 万円程度になります。

● 工事監理

設計をした建築士に工事監理をしてもらいましょう。

設計図上では耐震性が確保されていても、実際の改修工事が設計どおりに行われなければ安全にはなりません。きちんと改修工事が行われているかどうかをチェックしてもらうため、通常、工事金額の 5%～ 10%程度かかりますが、工事監理をしてもらいましょう。

● 工事中

工事中の様子は、しっかりと写真に残してもらいましょう。

● 税制上の優遇措置

各区市町村において、昭和 56 年以前に建築された住宅の耐震診断や耐震改修工事について助成金が出る場合があります。また、固定資産税・都市計画税・所得税における優遇措置を受けられる場合があります。（46ページ参照）

東京都との関連を装った耐震診断・改修業者にご注意を！

各家庭を訪問し、役所が作成したパンフレットなどを見せて、都と関連があるような紛らわしい営業活動で耐震診断等を勧誘したり、訪問等で不安をあおり補強工事の契約を結ばせようとする業者もいます。

業者の対応に不信を感じたり、解約したい場合は、区市町村の消費者相談窓口や東京都消費生活総合センターに相談しましょう。

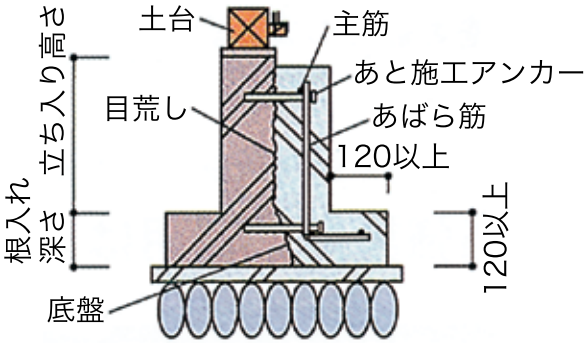
東京都消費生活総合センター：03−3235−1155
ホームページ：http://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/index.html

耐震改修の方法は？費用は？効果は？

● 基礎の補強

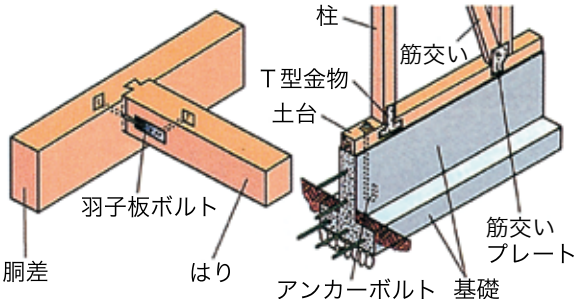
○玉石に束立てしただけの柱は、鉄筋コンクリート造の布基礎とし、アンカーボルトで土台と一体にしましょう。
【費用３万円／m（基礎長さ）】

○基礎の底盤の幅が不足していたり、基礎に鉄筋が入っていない場合には、基礎を増し打ちするなどして、既存のコンクリート造布基礎を補強しましょう。
【費用２～３万円／m（基礎長さ）】



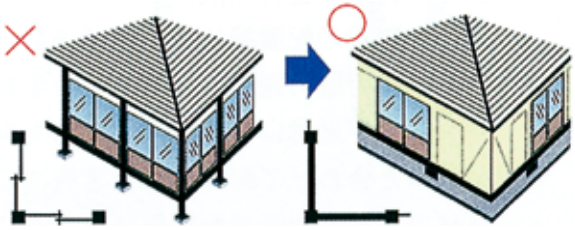
● はり・土台・柱・筋交いなどの接合部の補強

○土台･柱･筋交い･はりなどの接合部は専用の金物等を使って、それぞれの部材が一体となるよう緊結しましょう。
柱と土台→アンカーボルト、ホールダウン金物
【3 千円／箇所（※１）】
柱とはり→羽子板ボルトによる引き止め
【3 千円／箇所（※１）】
柱とはりと筋交い、柱と土台と筋交い→筋交いプレート、ひら金物と T 型又は V 型金物柱と土台と筋交いの併用
【費用３千円／箇所（※１）】
（※１）外壁等の補修工事は別途費用が掛かります。



● 筋交いを入れたり、構造用合板を張って強い壁（耐久壁）を増やしましょう

○柱、はりだけでは地震の力に抵抗できません。開口部（ガラス戸）を減らし、筋交いや構造用合板で補強された壁を増やしましょう。壁を釣合いよく増やすことにより、より大きな地震の力に耐えられます。
隅部を壁にすると一層効果的となります。
【費用 12 万円／箇所（壁長 91cm）】



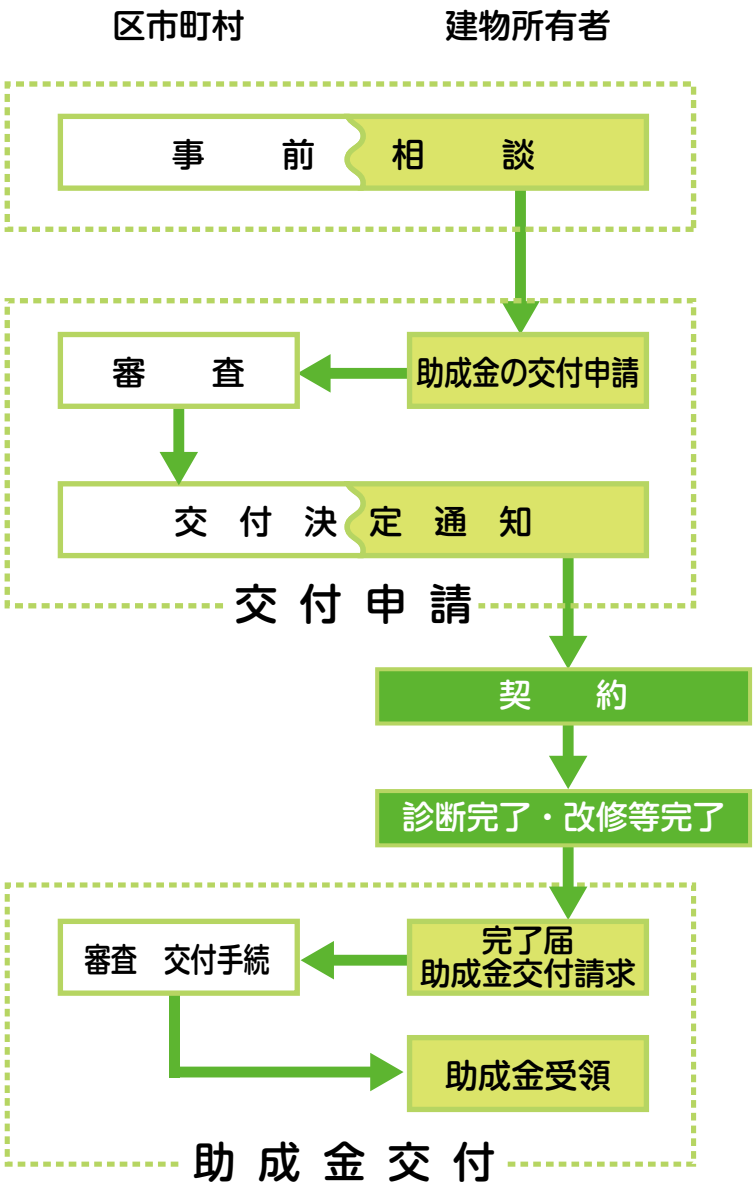
● 屋根の軽量化

○屋根を軽くすることによって、建物に作用する地震の力が減るので、大地震時に壊れにくくなります。
【費用１万円／㎡（※２）】
（※２）野地板の張替え、足場の組み方により別途費用が掛かります。

● 助成制度の活用について

東京では、各区市町村において、耐震診断や耐震改修などに要する費用の一部を助成する制度を設けています。内容は、各区市町村により異なりますので、まず建物のある区市町村にお問い合わせください。（裏表紙）

● 助成制度の基本的な流れ（例）



※　耐震診断については、区市町村が契約している技術者を無料派遣する場合や耐震診断を依頼できる技術者を指定している場合があります。

※　助成金の対象は、基本的には昭和５６年５月３１日以前に建築された建物となります。

平成26年度に選定された事例

※選定された各工事の事例について、工期
紹介している工法以外の補強工法と組み

耐震改修工法部門

No.1 グランデータ・ドラゴン・ウォール工法（略称　GDW工法）★

壁補強
パネルタイプ

・床、天井の解体範囲を抑えた施工が可能
・耐力が高く、補強効果が高い
・市販部材を使用するため低コスト

合板受材施工　構造用合板張　施工後

事例の概要

①昭和51年　②106.82㎡
③174万円（税別）④20日
⑤0.4→1.07
⑥室内壁：GDW工法壁補強15か所、
その他：布基礎補強（増打基礎）
8m、アンカーボルト設置

利用者の声

工期が短く、住みながらの工事で助かりました。費用も安く済み、これで安心して生活できます。

会社から一言

耐力が高いため費用対効果が高く、金物以外は市販の構造用合板、材木を使用するため、品質も安定し、リフォーム工事に最適です。

問合先
グランデータ株式会社
TEL　042-523-7800　E-mail : info@gurandate.co.jp
FAX　042-523-7811　HP : http://www.grandata.co.jp/

No.2 透光型耐力壁「パンチくん」★

壁補強
パネルタイプ

・高い採光・通風性で開放的な空間を実現
・合板の約1.5倍の強度を保持
・簡単施工により短時間での取り付けが可能

・2012年度 グッドデザイン賞受賞
・2014年度 キッズデザイン賞受賞

事例の概要

①昭和50年　②74.2㎡　③85万円（税別）
④7日　⑤0.58→1.02
⑥1階にパンチくん1か所設置、2階にパンチくん2か所設置（壁の解体、内装復旧工事）

利用者の声

光を遮ることがないので、暗くならず耐震性も高められて、とっても気に入っています。

会社から一言

パンチングメタルを使用した耐力壁のため、インテリア感覚での耐震リフォームが可能です。

問合先
旭トステム外装株式会社
TEL 0570-001-117　HP : http://www.asahitostem.co.jp
E-mail : HPの「お問合せ」をご利用ください

①事例の築年数　②延べ面積　③耐震改修工事費（全体の工事費）　④工期　⑤評点（改修前→後）　⑥事例の改修内容
★日本建築防災協会の評価取得有

No.3 木造 SRF 壁補強工法 ★

壁補強

構造用合板の釘打ち部をSRF補強し、釘を増し打ちすることにより、耐力を倍増させる工法です。

事例の概要

①昭和59年　②135.81㎡　③886万円（税別）④3ヶ月　⑤0.73→1.02
⑥・SRF壁補強2か所、SRF接合部補強9か所、筋交い新設42か所（46万円）
・内装仕上げ全面解体後、全体のフルリフォーム（840万円）

利用者の声

施工が容易で、高い耐力が得られる為、コスト面、工期についてメリットを感じます。

会社から一言

SRFテープが、合板際の釘の貫通、引き裂きを防止し、釘が曲がって引き抜けるまで耐力と靱性を引き出します。

問合先
構造品質保証研究所株式会社
TEL 03-5214-3431　E-mail : square@sqa.co.jp
FAX 03-5214-3432　HP : http://www.sqa.co.jp

No.4 TYFO® 工法　ハウスディフェンダー　壁用(TYFO　SEH-W-W工法) ★

壁補強

・最大で壁基準耐力13.5kN/mを実現
・壁を壊さず、住みながら耐震化が可能

事例の概要

①昭和52年　②164.45㎡　③340万円（うち耐震改修工事費207万円）（税別）
④44日　⑤0.47→1.01
⑥5か所の壁補強、クラック補修後に基礎全周補強、金物補強、屋根全面葺替え、構造用合板補強等

利用者の声

普段の生活そのままで耐震補強できたのが良かった。
大掛かりな工事を必要としないから短期間で工事が終わった。
住みながらにして短期間で工事が終わったから、コストを抑えることができた。

会社から一言

世界中の構造物の補強で培った技術を活かし、日本国内の木造住宅向けに開発した特許取得の耐震補強工法がハウスディフェンダーです。

問合先
ファイフ・ジャパン株式会社
TEL 03-6457-1910　E-mail : tyfo@fyfejapan.com
FAX 03-6457-1911　HP : http://www.fyfejapan.com

①事例の築年数　②延べ面積　③耐震改修工事費（全体の工事費）　④工期　⑤評点（改修前→後）　⑥事例の改修内容
★日本建築防災協会の評価取得有

No.5 アングルプレートブロック（スチールパネル）

壁補強

スチールパネルを使った壁の補強
天井・床を壊さず室内から施工

施工中

構造試験

事例の概要

①昭和55年　②95.22㎡
③126.4万円（税別）④10日間　⑤0.42→1.06
⑥1階と2階の部屋の壁にアングルプレートブロックを9か所取付け、基礎・土台・柱とはりをボルトで緊結して一体化

利用者の声

基礎からはりまでをパネルで一体化して耐震補強する工法と知ってお願いしました。住みながら工事をしてもらえたのと、短期間でしたので助かりました。これで安心して暮らす事が出来ます。

会社から一言

ものつくり大学での試験の結果、壁倍率3.55（6.96ＫＮ）の評価を受けました。アングルプレートブロックは、基礎・土台・柱・はりを一体化させますので、補強としては最強です。

問合先
株式会社東武防災建設
TEL 048-970-3530　E-mail : mail@tobubousai.com
FAX 048-970-3531　HP : http://www.tobubousai.com

No.6 GDブレース工法

壁補強
接合部・部材補強

・外壁を壊さず、外側から補強する工法
・オールステンレス製で耐候性が高い
・短工期、低コスト

事例の概要

①昭和50年②139.12㎡
③213万円(税別)　④10日
⑤0.36→1.04
⑥外壁補強：GDブレース7か所
　内壁補強：GDW工法壁補強4か所
　その他　：アンカーボルト新設

利用者の声

室内側での工事ができない事情があり、外からの補強ができるので、この工法にしました。
工期も短く、安心感があります。

会社から一言

外壁を壊さずに施工でき、短工期が可能です。
窓があっても窓はそのままで補強できます。
他の工法と組み合わせて補強すると効果的です。

問合先
グランデータ株式会社
TEL 042-523-7800　E-mail : info@gurandate.co.jp
FAX 042-523-7811　HP : http://www.grandata.co.jp/

①事例の築年数　②延べ面積　③耐震改修工事費（全体の工事費）　④工期　⑤評点（改修前→後）　⑥事例の改修内容
☆日本建築防災協会の評価取得有

接合部・部材補強

※基礎との接合部の部材補強のみでは、上部構造評点は上がりませんので、壁補強などと組み合わせて使用する必要があります。

No.7 木造 SRF 接合部補強工法 ★

接合部 部材補強

ポリエステル製の補強材をウレタン系接着剤で部材表面に接着し、接合部の耐力を付与する工法です。

事例の概要

①昭和53年　②90.67㎡
③119万円（税別）④14日
⑤0.70→1.02
⑥SRF接合部補強20か所、SRF基礎補強20か所

利用者の声

ポリエステル繊維の特徴を活かした工法で、工事費も安価。この工法を採用してよかったです。

会社から一言

木材に穴をあけないため、下地を傷つけずに補強することが可能です。

問合先
構造品質保証研究所株式会社
TEL 03-5214-3431　E-mail : square@sqa.co.jp
FAX 03-5214-3432　HP : http://www.sqa.co.jp

No.8 TYFO® 工法　ハウスディフェンダー　基礎補強

接合部 部材補強

・補強前基礎ランクⅡ→補強後基礎ランクⅠへ評価
・数本の繊維で1.5トンもの重さに耐えうるファイバーアンカーを採用

事例の概要

①昭和52年　②164.45㎡　③340万円（うち耐震改修工事費207万円）（税別）
④44日　⑤0.47→1.01
⑥5か所の壁補強、クラック補修後に基礎全周補強、金物補強、屋根全面葺替え、構造用合板補強等

利用者の声

基礎の大きなひび割れが不安だったので、基礎補強で安心を買いました。
どこから補強すればよいのかわからなかったので、まずは基礎部分からと考えました。

会社から一言

世界中の構造物の補強で培った技術を活かし、日本国内の木造住宅向けに開発した特許取得の耐震補強工法がハウスディフェンダーです。

問合先
ファイフ・ジャパン株式会社
TEL 03-6457-1910　E-mail : tyfo@fyfejapan.com
FAX 03-6457-1911　HP : http://www.fyfejapan.com

①事例の築年数　②延べ面積　③耐震改修工事費（全体の工事費）　④工期　⑤評点（改修前→後）　⑥事例の改修内容
☆日本建築防災協会の評価取得有

No.9 Hi ダイナミック制震工法 ★

制　震

・大地震の揺れを最大約70%抑える制震力
・簡単施工で工期も短い
・繰り返しの余震に対しても効果を発揮

制震装置

仕上げ

事例の概要

①平成９年　②195.38 ㎡
③225 万円(税別)　④３週間程度
⑤0.66→1.04
⑥Hi ダイナミック制震装置設置 4 か所、構造用合板による耐力壁補強

利用者の声

施工が容易な為、工事中も普段通りの生活ができました。メンテナンスフリーで 60 年も制震効果を発揮するので、安心して生活できます。

会社から一言

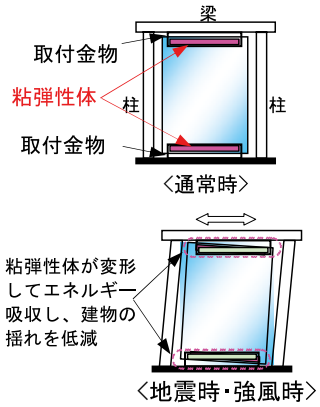
日立製のオイルダンパーが地震の揺れを吸収するので、繰り返しの余震にも安心です。

問合先
江戸川木材工業（株）・日立オートモティブシステムズ（株）
TEL 03-3521-3190　E-mail : gensin@edogawamokuzai.co.jp
FAX 03-3521-3170　HP : http://www.edogawamokuzai.co.jp

No.10 粘弾性体を用いた「ガラス制振壁」

制　震

ガラスと粘弾性体
・透明なガラスで室内を明るく演出
・粘弾性体が変形してエネルギーを吸収し揺れを低減



事例の概要

①昭和 45 年　②183 ㎡　③1560 万円（ガラス制振壁工事費 90 万円)(税別)
④約３か月(ガラス制振壁工事１日)
⑤0.58→1.56
⑥1 階居間に「ガラス制振壁」2 か所、在来工法補強工事20か所、その他(リフォーム工事等)

利用者の声

台所と居間の間にガラス制振壁を設置し、開放的な空間が出来て満足しています。また、大型自動車が通る時の振動が殆ど気にならなくなりました。

会社から一言

㈱大林組、住友スリーエム㈱、AGC 硝子建材㈱で GBRC 性能証明（第 08-19 号 2009 年 1 月 13 日）を取得した「粘弾性体を用いたガラス制振壁」です。開放感を演出するところにご使用下さい。

問合先
AGC硝子建材（株）
TEL 03-5875-9348　FAX 03-5875-9102
E-mail : mitsuo-fukuda@agc.com
HP : 工事会社　http://www.agc-gk.com/
商品説明　http://www.obayashi.co.jp/service_and_technology/related/tech035

①事例の築年数　②延べ面積　③耐震改修工事費（全体の工事費）　④工期　⑤評点（改修前→後）　⑥事例の改修内容
★日本建築防災協会の評価取得有

装置部門

No.11 耐震ベッド・シェルター「ウッド・ラック」(WOOD-LUCK)

ベッドを安全空間にするシェルター

・国産の100mm角ひのき材と鋼製特殊接続金具で強固に組立て
・家屋の倒壊時、命の空間を保つ
・介護ベッドのシェルターとして要介護者の身体を守る

介護ベット用シェルター

シングルサイズ用

事例の概要

①シングルサイズ45万円（税別）
②耐圧加重25トン以上
③枠内に介護ベッドの設置可能。設置は半日で完了。

利用者の声

ひのき製なので和室に設置しても違和感がありません。
木のぬくもりとひのきの香りでリラックスして休んでいます。
大規模なリフォームをせずに使用中のベッドに設置ができよかったです。

会社から一言

ひのき製にしかできない高い剛性とぬくもり空間で安心してお休みください。

問合先
新光産業株式会社
TEL 03-3251-2055　E-mail : info@shinkosangyo.co.jp
FAX 03-3251-2056　HP : http://www.shinkosangyo-as.com

No.12 耐震シェルター　レスキュールーム

部屋の一部を安全にするシェルター

1階の一部屋を基礎から補強

設置イメージ

事例の概要

①165万円～（6帖の場合）税別・工事費別途
②耐重量　8.53トン以上（一番弱い場所でも）
③六面体で形成されているシェルターを設置。壁・天井にはブレスを入れ、75ミリ角の鋼鉄製のシェルターを組む。特許取得 第3190616号

利用者の声

家の補強にもシェルターにもなる最適な場所に設置しました。
オーダーメイドなので既存の窓やドアなどを変更にする事なくできました。

会社から一言

住みながらの工事が可能です。設置工期も約2週間です。
工場等、企業の耐震対策にもご利用できます。

問合先
有限会社ヤマニヤマショウ
TEL 0120-88-2420　E-mail : info@rescueroom.main.jp
FAX 053-442-2422　HP : http://rescueroom.main.jp/

①設置費用　②耐重量　③事例の概要

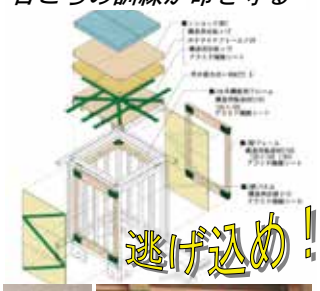
No.13 ～住居内の安心できる避難場所「！逃げ込め」～ シェルターユニットバス(UB)

部屋の一部を安全にするシェルター

・浴室をシェルター化　建物が倒壊しても家族の命を守ります

NHK 放映　実大試験

日ごろの訓練が命を守る



防災備品庫「壁(ベットボトル)・天井(防災用具)」

問合先
J建築システム株式会社
TEL 011-573-7779　E-mail : jas1@j-kenchiku.co.jp
FAX 011-573-7811　HP : http://www.j-kenchiku.co.jp

事例の概要

①42.6 万円(税別)(ユニットバス費を除く)
②木造 2 階建ての大地震時の衝撃・落下荷重を想定した実大実験にて安全性を確認
③・ユニットバスの交換と合わせ浴室をシェルター化
・天井、壁の防災備品庫を装備

利用者の声

建物全体の耐震化は、費用が大がかりのためにあきらめていました。しかし、万が一の大地震に逃げ込めば助かるシェルター UB なら予算内に収まることから、孫の命のために採用しました。

会社から一言

緊急時に対応するため、日ごろから浴室に逃げ込む訓練を家庭で行って下さい。

①設置費用　②耐重量　③事例の概要

平成25年度に選定された事例

※選定された各工事の事例について、工期や工事費などを紹介しています。
紹介している工法以外の補強工法と組み合わせた工事が必要となる場合があります。

耐震改修工法部門

No.1 タイガーグラスロック耐震壁(内壁用)工法 ★

壁補強
パネルタイプ

厚さ12.5mmタイガ-グラスロックを取り付けて壁を補強

施工中

施工後

事例の概要

①昭和53年　②119㎡　③119万円
④15日間　⑤0.78→1.09
⑥既存壁を撤去しタイガ-グラスロックに張替え

利用者の声

築40年超の自宅一階のリフォームに使用しました。先程大きな地震がありましたが、2階に居たところ、以前同程度の地震があった時と比べて格段に揺れが違ってました。

会社から一言

耐震補強と内装不燃化を両立できる工法です。

問合先
吉野石膏㈱商品開発部
TEL　03-5156-0068　E-mail : nprd@yoshino-gypsum.com
FAX　03-5156-0127　HP : http://www.yoshino-gypsum.com/

No.2 面材補強壁ガーディアン・ウォール ★

壁補強
パネルタイプ

・強くしなやかに粘る壁が、住まいを倒壊から守ります。
・居住しながら耐震補強。低コスト。短期工事

ガーディアン・ウォール大壁

ガーディアン・ウォール真壁

事例の概要

①昭和63年　②132.5㎡　③123万円
④1週間　⑤0.67→1.19
⑥ガーディアン・フォースの取付け　4か所
ガーディアン・シールド 鋼製ブレースの取付け　5か所
ガーディアン・ウォール 真壁の取付け　1か所
壁の解体、内装復旧工事

利用者の声

床と天井を壊さずに、片面から取り付けられるため、住みながらの補強が実現しました。お陰様で、愛着ある住み慣れた家で安心して住み続けることができます。

会社から一言

ガーディアン耐震改修工法が重視する粘り強さは、想定外の地震の際でも倒れず人命を守る住まいを目標としています。

問合先
株式会社　住宅構造研究所
TEL 048-999-1555　E-mail:hl@homelabo.co.jp
FAX 048-999-1533　HP:http://www.homelabo.co.jp

①事例の築年数　②延べ面積　③耐震改修工事費（全体の工事費）　④工期　⑤評点（改修前→後）　⑥事例の改修内容
★日本建築防災協会の評価取得有

No.3 ダイライト耐震かべ「かべ大将」 ★

壁補強
パネルタイプ

火山性ガラス質の無機パネルで室内側から既存の床・天井を極力壊さずに補強する。

①既存壁の撤去

②下地の施工

③パネルの施工

事例の概要

①昭和48年　②78㎡　③185万円（税別）
④延べ20日間　⑤0.25 → 1.01
⑥室内壁：ダイライト耐震かべ「かべ大将」、構造用合板を施工、筋交い金物設置
その他：基礎補強、新規アンカーボルト設置

利用者の声

耐震工事の工期も短く、仮住まいなしで普段どおりの生活ができたので、金額的にも助かりました。

会社から一言

住まいのリフォームと同時に耐震改修を行えば、施工のムダが省けます。
リフォーム時にはあわせて、安心の耐震改修をおすすめします。
※設計・施工事業者様へ
ダイライト耐震かべを用いた補強設計及び施工に関しては大建工業㈱が開催する設計施工技術者研修会又はこれに準ずる技術指導を受けてください。

問合先
大建工業株式会社
TEL：0120-787-505
HP：https://www.daiken.jp/form/fid007.html
フリーダイヤル又はHPの「お問合せ」をご利用下さい。

No.4 壁補強キット「かべつよし」「モイスかべつよし」 ★

壁補強
パネルタイプ

・「天井・床を壊さない壁補強」のパイオニア
・モイスかべつよしはクロスや湿式直接仕上可能

工事前

工事後

事例の概要

①昭和５４年築　②９２㎡
③９９万円
④７日間
⑤０．５８→１．０６
⑥既存内壁を撤去し耐震ボードを６か所設置

利用者の声

長年親しんできたフローリングを残したまま耐震補強をして、安心して生活できるようになり、本当にやって良かったと思います。

会社から一言

床や天井を壊さずに耐震性を向上し、住宅の長寿命化に貢献します。

問合先
エイム株式会社
TEL 048-224-8160　E-mail : shimada@aimkk.com
FAX 048-224-8180　HP: http://www.aimkk.com/

①事例の築年数　②延べ面積　③耐震改修工事費（全体の工事費）　④工期　⑤評点（改修前→後）　⑥事例の改修内容
★日本建築防災協会の評価取得有

No.5 耐震改修面材『あんしん』かべ強化 ★

壁補強
パネルタイプ

・無機質系耐力面材による壁の補強
・白アリにも強く、構造用合板より透湿性、耐久性に優れています。
・日本建築防災協会の技術評価を取得していますので、自治体の補助金制度の活用が可能です。

事例の概要

①昭和6年 ②110㎡ ③269万円（479万円）
④1.5か月 ⑤0.09→2.16
⑥既存外壁を剥がし、劣化した柱などを補修交換後、「かべ強化」で壁の補強。
仕上げに外壁リフォームをして完了。

利用者の声

準不燃材料認定品のため、万一の火災時にも安心で、建物の防火・防水性能が向上しました。古くても愛着がある建物でしたので、耐震改修と新しい外壁にリフォームできて良かったです。

会社から一言

建物の外部からの工事なので、住みながらの工事が可能です。土壁などの間柱がない場合でも施工が可能です。

問合先
ニチハ株式会社　市場開発部
TEL 03-5205-3916　E-mail:SIJO-K@nichiha.co.jp
FAX 03-5205-3924　HP:http://www.nichiha.co.jp

No.6 コボットステンブレースシステム工法

壁補強
パネルタイプ

・コンパクトで土壁の中にも納めやすい。
・コボット単体で接合部補強も可能
・水平ブレースとしても使用可能

事例の概要

① 昭和58年築 ② 95㎡
③ 110万円（解体仕上げ工事費を含む。）
④ 0.79→1.0 ⑤ 約6日間
⑥・コボット本体にて接合部補強
・ステンレス筋交いを張って補強（5か所）
※諸経費、補強設計策費は含まず。

利用者の声

柱頭柱脚部に金物がしっかりと固定されていて安心感があります。また耐震補強工事の際に既存部分への影響が少なく、とても利用しやすいと思います。

会社から一言

・国土交通大臣認定品
・開口部を残したままの補強も可能です。

問合先
株式会社 国元商会　東京支店
TEL 03-3252-8001　E-mail : tokyo@kunimoto-s.co.jp
FAX 03-3252-8181　HP(会 社): http://www.kunimoto-s.co.jp
HP(コボット): http://www.cobot.jp

①事例の築年数　②延べ面積　③耐震改修工事費（全体の工事費）　④工期　⑤評点（改修前→後）　⑥事例の改修内容
★日本建築防災協会の評価取得有

No.7 筋かい補強壁 ガーディアン・シールド(鋼製ブレース) ★

壁補強

・強くしなやかに粘る壁が、住まいを倒壊から守ります。
・居住しながら耐震補強。低コスト。短期工事

事例の概要

①昭和63年　②132.5㎡　③123万円
④1週間　⑤0.67→1.19
⑥ガーディアン・フォースの取り付け　4か所
ガーディアン・シールド 鋼製ブレースの取付け　5か所
ガーディアン・ウォール 真壁の取付け　1か所
壁の解体、内装復旧工事

利用者の声

床と天井を壊さずに、片面から取り付けられるため、住みながらの補強が実現しました。おかげ様で、愛着ある住み慣れた家で安心して住み続けることができます。

会社から一言

ガーディアン耐震改修工法が重視する粘り強さは、想定外の地震の際でも倒れず人命を守る住まいを目標としています。

問合先
株式会社　住宅構造研究所
TEL 048-999-1555　E-mail:hl@homelabo.co.jp
FAX 048-999-1533　HP:http://www.homelabo.co.jp

No.8 ウッドピタブレース工法 ★

壁補強
外付けタイプ

・鉄骨フレームによる外部施工の補強工法
・外壁の一部撤去のみで取付けできるため、解体費、復旧費がほとんど不要
・解体、復旧作業を伴わない分、短い工期で施工可能

事例の概要

①昭和46年　②105.16㎡
③290万円
④1か月　⑤0.31→1.06
⑥外壁を解体することなく鉄筋ブレースを設置(一部内部改修)

利用者の声

外からの工事なので、工事中も普段どおりの生活ができました。東日本大震災の時は、補強前と比べて家の揺れ方が変わり、補強効果を実感しました。

会社から一言

室内工事がほとんどありません。
塗装も可能です。

問合先
株式会社ピタコラム
TEL　0120-260-220　E-mail : info_pita@yahagi.co.jp
FAX　03-3553-8366　HP : http://www.pita.co.jp

①事例の築年数　②延べ面積　③耐震改修工事費（全体の工事費）　④工期　⑤評点（改修前→後）　⑥事例の改修内容
★日本建築防災協会の評価取得有

No.9 ウッドピタフレーム工法 ★

壁補強
外付けタイプ

・鉄骨フレームによる外部施工の補強工法
・外壁の一部撤去のみで取付けできるため、解体費、復旧費がほとんど不要
・解体、復旧作業を伴わない分、短い工期で施工可能

事例の概要

①昭和56年　②101.64㎡
③270万円
④2か月　⑤0.50→1.00
⑥南面の開口部に鉄骨フレームを設置
（一部内部改修）

利用者の声

南面に大きな窓があり耐震性に不安がありましたが、外から生活に支障なく補強ができました。窓を壁にすることがないので出入り・採光・通風が今までどおりでとても満足しています。

会社から一言

南面の開口部分の補強に最適。
外部工事が中心なので、工事中も生活にほとんど影響しません。

問合先
株式会社ピタコラム
TEL　0120-260-220　E-mail : info_pita@yahagi.co.jp
FAX　03-3553-8366　HP : http://www.pita.co.jp

接合部・部材補強

※基礎との接合部の部材補強のみでは、上部構造評点は上がりませんので、壁補強などと組み合わせて使用する必要があります。

No.10 木造ＳＲＦ基礎補強工法 ★

接合部
部材補強

事例の概要

①昭和53年　②90.67㎡　③125万
④2～3週間　⑤0.70⇒1.02
⑥SRF工法による基礎補強を行い、主要な柱頭柱脚部はSRF工法による接合部補強を行った。

利用者の声

・施工が容易なため、工事が短期間で行えた。安心して住みながら工事をしていただけて有り難かった。
・震度５の地震を受けたが問題なかった。

会社から一言

基礎に穴を開けることがないため、無筋の基礎でも安心してお使いいただけます。

問合先
構造品質保証研究所㈱
TEL:03-5214-3431　E-mail：square@sqa.co.jp
FAX:03-5214-3432　HP:http://www.sqa.co.jp

①事例の築年数　②延べ面積　③耐震改修工事費（全体の工事費）　④工期　⑤評点（改修前→後）　⑥事例の改修内容
★日本建築防災協会の評価取得有

No.11 ＪＢＲＡ（ジャブラ）-１システム

接合部 部材補強

・アラミド繊維シートと接着剤を用いた新接合システム
・柱頭柱脚に貼るだけで、地震時の柱の引き抜きを防止
・木材を傷つけずに、家全体を高強度・高耐久性化

柱脚補強（ﾎｰﾙﾀﾞｳﾝ10kN相当）

柱脚補強（ﾎｰﾙﾀﾞｳﾝ15kN相当）

事例の概要

①昭和55年　②128㎡　③耐震改修工事費全体80万　※JBRA-1工事費：10万
④全体工期２週間　※JBRA-1工期：2日間
⑤０.２９→１.０６　⑥柱頭柱脚接合部にJBRA-1を施工、既存壁に構造用合板張り

利用者の声

外部補強のみの静かな工事だったので、工事中も普段通り生活できました。
軽微な工事で診断評点1.0以上となったので大変満足しています。

会社から一言

産学官の評価を得ている唯一の工法！
はりの割れや基礎補強などにも対応！

問合先
J建築システム㈱
TEL：011-573-7779（本社）E-mail：jas1@j-kenchiku.co.jp
FAX：011-573-7811（本社）ＨＰ：http://www.j-kenchiku.co.jp

No.12 柱脚用耐震補強金物「シェイクブロック」★

接合部 部材補強

柱・土台を固定し、ほぞ抜けを防止

短期許容耐力15.36KNの強度で耐震性向上なので、設置者によるバラつきのない施工が容易

日本建築防災教会技術評価を取得
【DPA-住技-50】

事例の概要

①平成5年　②127㎡
③145万円
④1か月　⑤0.32→1.00
⑥シェイクブロックによる柱脚接合部補強筋交い、構造用合板による壁補強

利用者の声

施工者は地震の時に揺れが軽減されているのを体感。テレビの震度情報が流れると、前より１少ない感じで、家が丈夫になったのが分かります。

会社から一言

リフォーム用のホールダウン金物を施工性に考慮して開発しました。

問合先
株式会社土屋ホームトピア
TEL　03-3707-5422　E-mail：r-koshio@hometopia.co.jp
FAX　03-3707-5412　HP：http://www.hometopia.jp

①事例の築年数　②延べ面積　③耐震改修工事費（全体の工事費）　④工期　⑤評点（改修前→後）　⑥事例の改修内容
★日本建築防災協会の評価取得有

No.13 耐震ポール工法 ★

ポールによる補強

建物外周に鋼製ポールを地中深く立て、頂部を2階の胴差・はりに接合し建物を補強する。

事例の概要

①昭和56年　②119.8㎡
③235万円（消費税別）
④10日間　⑤0.54→1.02
⑥1階：耐震ポール3本、
2階：構造用合板（巾910mm、1枚）

利用者の声

素人でも非常に分かりやすい工法です。補強後、毎日、安心して住めるようになりました。

会社から一言

・居ながら施工
・工事は実働約10日間

問合先
㈱シーク建築研究所
TEL 045-780-1155　E-mail : i-shec2@i-shec.jp
FAX 046-861-2384　HP : http://i-shec.jp

No.14 建物のバランスを考慮した命の耐震窓「J－耐震開口フレーム」 ★

フレーム補強

・開口部を損なうことなく耐力壁を増加、配置バランスの向上
・地震時に開口部を守り避難経路を確保
・木質材補強のため現場での施工が容易

間仕切部の耐震補強

2階の開口部補強

事例の概要

①平成4年　②143㎡　③耐震改修工事費全体26万　※J－耐震開口フレーム工事費：12万
④全体工期２週間　※J－耐震開口フレーム：60分　⑤0.7→1.18　⑥1階開口部にBOX型フレームを１か所設置、既存壁に構造用合板張り

利用者の声

・耐力上、間仕切り壁を撤去できなかった部屋も大きな一続きの空間にできました。
・外周の開口部を損なうことなく耐震補強ができ満足しています。

会社から一言

様々な開口部を部分的に耐力壁化できる、防災協会などの多くの公的評価を受けた工法です。

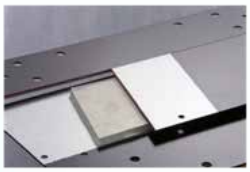
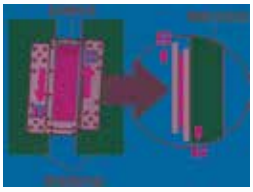
問合先
J建築システム㈱
TEL: 011-573-7779（本社）　FAX: 011-573-7811（本社）
E-mail　jas1@j-kenchiku.co.jp
ＨＰ　http://www.j-kenchiku.co.jp

①事例の築年数　②延べ面積　③耐震改修工事費（全体の工事費）　④工期　⑤評点（改修前→後）　⑥事例の改修内容
★日本建築防災協会の評価取得有

No.15 制振補強壁ガーディアン・フォース

制　震

・制振補強を居住しながらできます。
・本震だけでなく余震にも強く、ずっと安心
・実大振動実験で性能の高さが実証されています。

事例の概要

①昭和63年　②132.5㎡　③123万円
④１週間　⑤0.67→1.19
⑥ガーディアン・フォースの取付け　４か所
ガーディアン・シールド 鋼製ブレースの取付け　５か所
ガーディアン・ウォール 真壁の取付け　１か所
壁の解体、内装復旧工事

利用者の声

床と天井を壊さずに、片面から取り付けられるため、住みながらの補強が実現しました。おかげ様で、愛着ある住み慣れた家で安心して住み続けることができます。

問合先
株式会社　住宅構造研究所
TEL 048-999-1555　E-mail:hl@homelabo.co.jp
FAX 048-999-1533　HP:http://www.homelabo.co.jp

会社から一言

繰り返しの地震でも壊れず、
地震後の補修費用も低減します。

装置部門

No.16 介護用防災フレーム

ベッドを安全空間にするシェルター

・設置は1階に限定
・アーチ型のフレーム内に介護ベッドをすっぽり収納

事例の概要

①￥372,500円（税別）
②耐荷重真上から5.9ｔ
③鋼製フレームがシェルターの役割を果たす
左右どちらからでも介護可能

利用者の声

我が家では、防災フレームのおかげでどれだけ安心して生活できたかしれません。災害が間近に迫っている昨今、皆様にも是非知っていただきたい。

問合先
㈱ニッケン鋼機
TEL 0545-73-0652　E-mail:hsaitou@ns-kouki.co.jp
FAX 0545-73-0653　HP:http://www.ns-kouki.co.jp

会社から一言

部屋を改造することなく、短時間での設置が可能です。

①設置費用　②耐重量　③事例の概要

No.17 防災ベッド　標準型BB-002

ベッドを安全空間にするシェルター

・設置は1階に限定
・鉄鋼製のフレームを上部に取り付けたベッド

事例の概要

①￥285,000円（税別）
②耐荷重真上から10ｔ
③鋼製フレームがシェルターの役割を果たす

利用者の声

ベッドを設置することで安心して眠れるようになりました。

会社から一言

部屋を改造することなく、
短時間での設置が可能です。

問合先
㈱ニッケン鋼機
TEL 0545-73-0652　E-mail:hsaitou@ns-kouki.co.jp
FAX 0545-73-0653　HP:http://www.ns-kouki.co.jp

No.18 安心防災ベッド枠Ａ

ベッドを安全空間にするシェルター

・設置は1階限定・既存ベッドの上部に鋼鉄製のフレームを設置
・寝ている人の身を家屋の倒壊から守る。

事例の概要

①34万円(別途搬入設置費用等12.4万円)(都内の場合・消費税は別途・床補強必要な場合は別途)
②耐荷重：25ｔ(真上からの荷重)
③枠内に介護ベッドの設置可能・設置は半日で完了

利用者の声

・地震が来ても安心して眠れます。
・リフォームより安く済みました。

会社から一言

急な地震でも家屋の倒壊から命を守り被害を軽減することを目的に設置

問合先
フジワラ産業株式会社
TEL　06-6586-3388　E-mail：info@fj-i.co.jp
FAX　06-6586-1177　HP:http//www.fj-i.co.jp

①設置費用　②耐重量　③事例の概要

No.19 安心防災ベッド枠B

ベッドを安全空間にするシェルター

・設置は1階限定・既存ベッドの上部に鋼鉄製のフレームを設置
・寝ている人の身を家屋の倒壊から守る。

事例の概要

①38万円(別途搬入設置費用等12.4万円)(都内の場合・消費税は別途・床補強必要な場合は別途)
②耐荷重：16t(真上からの荷重)
③枠内に介護ベッドの設置可能・設置は半日で完了

利用者の声

・地震が来て家が倒壊しても身を守れる場所があるので安心です。
・使い慣れたベッドを使用できました。
・設置に余り時間がかからず、助かりました。

会社から一言

急な地震でも家屋の倒壊から命を守り被害を軽減することを目的に設置

問合先
フジワラ産業株式会社
TEL 06-6586-3388　E-mail：info@fj-i.co.jp
FAX 06-6586-1177　HP:http//www.fj-i.co.jp

No.20 木質耐震シェルター

部屋の一部を安全にするシェルター

建物内部設置
木造家屋の1階に設置し、万一地震により家屋が倒壊しても、中にいる人の安全を確保するための耐震シェルター

倒壊実験写真

完成写真

事例の概要

①25万円(設置工事2日間)　②想定荷重を地震による木造住宅の倒壊の衝撃力とし、実際の建物倒壊実験で性能を確認　③・既存の建物に大きく手を加えることなく設置が可能　・内部はシングルベッドが2台設置できる広さを確保し、常時居住にも違和感のないクロス張り仕上げ

利用者の声

耐震補強工事も大変ですので、手軽にできる耐震対策として、木質耐震シェルターを知り、設置を決めました。今は安心して就寝できています。

会社から一言

大地震の発生で、万が一建物が倒壊しても「人命」だけは守りたい。

問合先
(株)一条工務店
TEL 0120-422-231　E-mail：t-shelter@ichijo.co.jp
FAX 053-596-3655　HP：http://ichijo.jp

①設置費用　②耐重量　③事例の概要

No.21 木造軸組耐震シェルター「剛建」

部屋の一部を安全にするシェルター

重落下物を考慮し一部鋼材・接合部は耐震金物を使用し、倒壊から命を守る。

事例の概要

①３８万円②地震による木造二階建住宅の倒壊の想定荷重を水平方向加圧・鉛直方向の衝撃・落下実験で性能を確認③ベッドを２台入れても余裕の広さ。採光と倒壊時に考慮し、四方を出入口にし、１か所はバリアフリー。組立て・設置は１日で完了

利用者の声

バリアフリーであることと、シェルターであっても開放感があり、倒壊して、もし火災が発生しても出入口が四方にあり安心しています。

会社から一言

国産材を使用し、身体にも環境にもやさしい。シェルター本体の重量が軽いので、家への負担が少ない。

問合先
(有)宮田鉄工
TEL: 0587-37-1569　E-mail: miyata@taishin-shelter.co.jp
FAX: 0587-37-6341
URL　: http://www.taishin-shelter.co.jp/

No.22 シェル太くん工法

部屋の一部を安全にするシェルター

・お家の中に、頑丈なシェルター（避難空間）を造ります。
・鉄骨はすべて工場加工されたものを現場で組み立てます。

事例の概要

①186.3万円（部屋の大きさ、内装仕上げにより費用の増減があります。）②木造2階建て住宅が倒壊した場合を想定して計算しています。③一部屋の避難（生存）空間を頑丈な鉄骨で造ります。

利用者の声

古い家なので、地震が心配でした。耐震改修も考えましたが、それなりに時間とお金がかかります。一部屋でも命を守れる安心空間が作られたことで、満足しています。

会社から一言

耐震改修だけが、答えではありません、まずは命を守ることを考えてみませんか。

問合先
株式会社ヤマヒサ
TEL　0120-36-1374　　FAX　06-6314-5154
HP: http://www.yamahisa.co.jp/
E-mail：ホームページの専用お問い合わせフォーム

①設置費用　②耐重量　③事例の概要

No.23 シェルキューブ

部屋の一部を安全にするシェルター

鉄骨フレームによるシェルターを設置し、内装工事で仕上げます。

事例の概要

①350万円（6帖タイプ・内装工事込み標準工事費）
②耐荷重　100トン以上（真上からの荷重）
③鉄骨フレームがシェルターの役目を果たします。床・天井を解体し、鉄骨フレームを設置。内装工事を行い、仕上げます。

利用者の声

思っていた以上に頑丈な鉄骨でした。いざという時に備えて、いつもいる部屋に設置し、安心して生活しています。

会社から一言

・大地震の建物倒壊から大切な人の命を守ります。
・築年数・間取りにかかわらず設置できます。

問合先
株式会社 デリス建築研究所
TEL 03-3287-2011　E-mail：info@delis-archi.co.jp
FAX 03-3287-2012　HP：www.delis-archi.co.jp

No.24 耐震シェルター「安全ボックス」

部屋の一部を安全にするシェルター

家の１階の部屋の中に、新たに鉄筋コンクリートで基礎を造り、軽量鉄骨の骨組みで安全な部屋を造ります。
仕上がりの見た目は普通の部屋と変わりません。
住んだまま、短い工期で施工が可能です。

事例の概要

①98万円（4.5帖　建具等設置費用　別途約5万円）127万円（６帖　建具等設置費用　別途約6.5万円）148万円（８帖　建具等設置費用　別途約7.5万円）
②耐荷重34ｔ（真上からの荷重）　③事例の概要軽量鉄骨で安全な部屋を造ります。１階の１部屋に設置することで、この部屋だけはつぶれず安心・安全なスペースとなります。

利用者の声

子供・孫達と一緒に住んでいるので、いざ地震という時に家族を守れる頑丈な部屋を造ってほしいと相談し、この安全ボックスを設置してもらいました。地震が来たらすぐにこの部屋に集まれば心配ないという安心感があり、頼んで本当に良かったと思います。

会社から一言

住んでいる方の生命を守ることを一番に考え、安全ボックスを設置します。地震から身を守るシェルターであると同時に、普段は快適に過ごせる空間を造ります。安心して休める寝室や家族と過ごすリビングとしてご利用ください。

問合先
株式会社　アップルホーム
TEL：０４５-９４３-８８２２　FAX：０４５-９４３-８８２８
E-mail:good-hope@apples-home.co.jp
WEB:http://www.apples-home.co.jp/

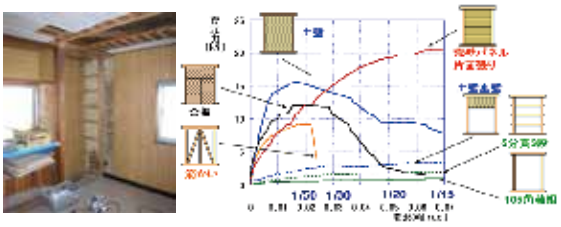
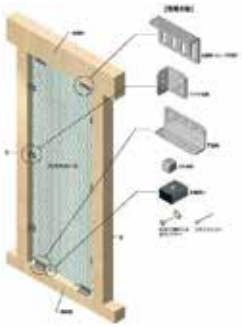
①設置費用　②耐重量　③事例の概要

平成17年度から平成21年度に選定された事例

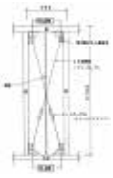
耐震改修工法部門

※選定された各工事の事例について、工期や工事費などを紹介しています。
紹介している工法以外の補強工事と組み合わせた工事が必要となる場合があります。

1壁補強①（内壁、外壁）パネルタイプ

No.	名称・特徴	事例の概要
1	**荒壁パネルによる耐震補強工法**  環境にやさしい 荒壁パネル　　抜群の変形能力	① 昭和48年築　② 97㎡ ③ 205万円 ④ 3か月（荒壁パネル設置10日間） ⑤ 1/13rad⇒1/22rad（限界耐力計算による） ⑥ 荒壁パネルの設置（8か所）、乾式の瓦へ屋根葺（ふき）替え、仕口ダンパー設置（22個）、火打梁追加 業者一言：**（株）アンデン東京 （製造元（株）丸浩工業）☎03-5942-8575** 木造軸組工法が持つ変形能力を生かした補強ができる工法です。
2 ★	**耐震補強工法「AT-WALL壁王」** ・外周部の耐震補強と同時に、化粧直しが可能 ・今の外壁を剥がすことにより柱やはりのチェックができ安心 ・外側からの工事で、住む人の負担を軽減	① 昭和50年築　② 87㎡ ③ 263万円（489万円）④ 1か月間 ⑤ 0.52⇒1.04 ⑥ 既存外壁を撤去し、壁王を取付け（外壁全面） （その他、屋根、窓周りの一部、ベランダ、玄関の改修） 業者一言：**旭トステム外装（株）　☎0570-001-117** 窯業系サイディングを耐力面材として利用できる仕様とした工法です。
3	**採光壁(ポリコンFRP板)** ふすまと障子（小窓付き） ・大きな解体工事がなく、廃材が少ない ・三角のパネルを柱、土台に固定し建具のような仕上がりで補強可能	① 昭和48年築　② 106㎡ ③ 82万円　④ 4日間 ⑤ 0.68⇒1.02 ⑥・採光壁6枚を開口部に取り付け、内部構造材柱、桁、はりの接合部を約70%補強 ・採光壁16枚を既存建具と同じ柄に統一して張り替え、違和感なく仕上げ補強 業者一言：**東北テクニカルワーク（株）　☎03-5348-2855** 採光壁は開口部補強材で続き間の補強に最適です。 震度6弱の地震を経験済み
4	**SDU工法** ・戸箱の裏にも取付けが可能な特殊パネルによる壁補強 ・土壁を剥がさずに壁補強ができる等 施工前　施工中　施工後	① 昭和55年築　② 97.72㎡ ③ 152万円　④ 4日間 ⑤ 0.67⇒1.01 ⑥・1階外壁側にSDUを7か所設置 ・柱頭･柱脚の補強 ・腐蝕部分の健全化 業者一言：**イーメタル（株）　☎0566-36-1738** 大規模な本震はもちろん、繰り返し襲ってくる余震にも効果を発揮！ 国土交通大臣認定を取得
5	**「ひかりかべ」**  ・高強度材料であるFRP製の格子部材をはめ込み、耐力壁として壁を補強 ・格子状のため採光や通風が 確保でき、居住性が向上 ・そのまま仕上げ材になるため工期の短縮が可能	① 昭和50年築　② 90㎡ ③ 165万円　④ 10日間 ⑤ 0.46⇒1.03 ⑥・採光と通風を考え、ひかりかべを5か所に設置 ・既存壁4か所に筋交い金物取付け、構造用合板貼付け 業者一言：**AGC マテックス（株）　☎03-5541-6102** 狭小地でも採光の問題解決に役立ちます。

①事例の築年数　②延べ面積　③耐震改修工事費（全体工事費）　④工期　⑤評点（改修前→後）　⑥事例の改修内容　★日本建築防災協会の評価取得有

No.	名称・特徴	事例の概要
6 ★	**透光型壁補強キット「ひかりかべつよし」** ・高強度材料であるGFRP製の格子形部材で壁を補強 ・格子状のため採光や通風の確保が可能 ・そのまま仕上げ材となる FRP	① 昭和47年築　② 65㎡ ③ 162万円(177万円)　④ 6日間 ⑤ 0.11⇒1.03 ⑥・採光と通風を考えて、「ひかりかべつよし」を1か所設置 ・「かべつよし」を4か所設置 ・外付ホールダウン金物「いのちまもる」を3か所設置 ・基礎補修「きそきょうこ」にてクラック補修を1か所実施 業者一言：**エイム(株)・AGC マテックス(株)**　☎048-224-8160 採光と通風を取ることが可能な壁補強 お住まいに合わせた色を選択
7 ★	**垂壁・腰壁補強キット「モイスまどつよし」** ・開口部を設けながら補強可能 ・天井、床を壊さず補強可能 施工例 	① 昭和40年築　② 159㎡ ③ 146万円(192万円)　④ 約5日間 ⑤ 0.59⇒1.00 ⑥・「モイスまどつよし」で内壁を1か所補強し、開口には、ちょっとした明かりと意匠性からステンドグラスにて仕上げ ・「モイスかべつよし」で内壁を8か所補強 業者一言：**エイム（株）**　☎048-224-8160 垂壁、腰壁を補強し、開口にて住宅に合わせた提案をすることが可能
8	**ML耐震補強工法** 補強中　補強後  ・外壁撤去後、壁内部に金属製筋交いを取り付けて壁を補強 ・柱・はり接合部も筋交い取付用金物（ML 金物）で同時に補強	① 昭和50年築　② 59㎡ ③ 85万円（179万円）　④ 2週間 ⑤ 0.76⇒1.02 ⑥・外壁側から5か所の壁を撤去し、ML金物、金属製筋交いを取付け ・ML 金物により、土台と柱、はりと柱の仕口部の接合を補強 業者一言：**（株）匠建築**　☎03-6805-9671 耐震性はもとより、意匠や耐久性にも優しい工法です。

壁補強①（内壁、外壁）筋交いタイプ

No.	名称・特徴	事例の概要
9	**ホームウェルハードロックⅡ** ・壁の内部に金属製筋交いを取り付けて壁を補強 ・柱・梁の接合部も筋交い取付用金物で同時に補強 	① 昭和51年築　② 110㎡ ③ 150万円(275万円)　④ 20日間 ⑤ 0.50⇒1.02 ⑥・内外壁にハードロックⅡを12か所取付け ・無筋基礎のヒビ割れを補修 ・無筋基礎外周部に繊維シートを貼付け （その他耐震改修外工事あり） 業者一言：**（株）　LIXIL　リフォーム推進部**　☎03-6273-3648 耐力は壁倍率4.2で国土交通大臣認定を取得しております。

①事例の築年数　②延べ面積　③耐震改修工事費（全体工事費）　④工期　⑤評点（改修前→後）　⑥事例の改修内容
★日本建築防災協会の評価取得有

2 壁補強②（外付け）

No.	名称・特徴	事例の概要
10	**パワーウォール外付耐力壁工法** 本体及び工具一式 本体設置後 仕上げ後 ・鋼製フレームと筋交いによる外付耐力壁補強 ・壁倍率5.9倍 ・安価で工期が短い ・意匠性に優れている	① 昭和54年築　② 120㎡ ③ 110万円　④ 約2日間 ⑤ 0.83⇒1.00 ⑥ パワーウォールをＸ方向に２台、Ｙ方向に３台の計５か所設置により補強 業者一言：**（株）ケアンズ・コーポレーション　☎03-3559-7339** 外壁補強のため、住みながらの施工が可能で工期が短い。
11	**安心ちから壁** ・柱・梁・土台の接合部に外部から接合部補強を兼ねた金物と鋼製筋交いをたすき掛けに取付け ・室内工事がほとんどなく、工期が短い 	① 昭和24年築　② 78㎡ ③ 119万円（128万円）　④ 10日間 ⑤ 0.26⇒0.77 ⑥・１階外壁面及び開口部に安心ちから壁補強金物を使用して9mm鉄筋をたすき掛けに9か所取付け ・玄関内壁に構造用合板9mmを1か所取付け 業者一言：**（株）田中工務店　☎03-3814-7891** 外部から後から簡単に取り付けることで住みながら工事が可能

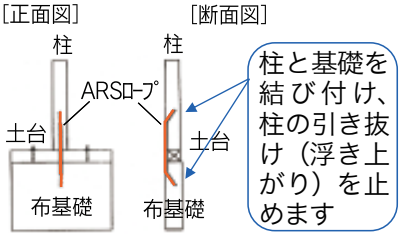
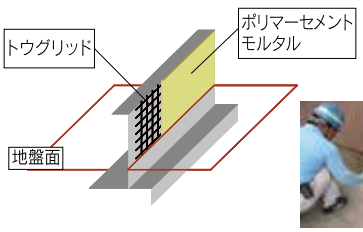
3 壁補強③（接合部・部材補強との組合せ）

No.	名称・特徴	事例の概要
12	**耐震LaZo工法** ・既存柱の脚部と基礎を柱脚プレートで緊結、既存壁を合板で覆いビス固定（コア孔樹脂充填） ・工事中、日常生活に支障なく、居つき施工が可能 ・既存外壁上に耐震壁を取付けのため簡単工事で工期短縮 ★	① 昭和50年築　② 114㎡ ③ 118万円　④ 12日間 ⑤ 0.64⇒1.22（1階のみ） ⑥ 耐震パネル9枚、柱脚プレート18か所設置 ※工事は全国の登録施工者が施工 業者一言：**（株）カネシン　☎03-3696-6781** 依頼主はそのまま住みながら工事が可能 大掛かりな屋内改修工事はほとんどありません。
13	**耐震補強三角火打金物** 【施工前】　【施工後】 ・窓や出入口の腰壁やたれ壁の部分に金物と構造用合板を取り付けて壁を補強 ・窓等があって筋交いや合板が取り付けられない壁を耐力壁にできる ★	① 昭和34年築　② 72㎡ ③ 85万円（157万円）　④ 15日間 ⑤ 0.34⇒1.02 ⑥・窓などの開口で筋交いの取り付けられない壁14か所に、耐震補強三角火打金物と構造用合板で耐力壁をバランス良く設置（その他、内装リフォーム工事） ・既存耐力壁は改修無し 業者一言：**耐震補強研究所（株）　☎048-462-9574** 開口部耐震補強！ 耐震セイフティ工法！

①事例の築年数　②延べ面積　③耐震改修工事費（全体工事費）　④工期　⑤評点（改修前→後）　⑥事例の改修内容
★日本建築防災協会の評価取得有

4接合部・部材補強

※基礎との接合部の部材補強のみでは、上部構造評点は上がりませんので、壁補強などと組み合わせて使用する必要があります。

No.	名称・特徴	事例の概要
14	**スミリンREP工法** ・アラミド繊維シートを貼って基礎を補強 ・タフパネルと金物を使って、天井や床を壊さずに壁を補強 ・既存はり下に集成はりを接着し、両面に合板を接着して補強	① 昭和40年築　② 132㎡ ③ 163万円(1800万円) ④ 16週間 ⑤ 0.51⇒1.21 ⑥・無筋基礎にアラミド繊維シートを貼付け ・壁にタフパネルを取付け ・既存のはり、地盤を補強(その他全面リフォームと外構工事) 業者一言 **住友林業ホームテック（株）** ☎0120-5-46109 実物大実験で実証。安心と信頼のリフォーム技術
15	**ARS工法**  ・ARSロープ(アラミド繊維)により接合部を補強し、柱の引き抜けを防止することで、耐震性を向上	① 昭和55年築　② 90㎡ ③ 25万円(97万円)　④ 14日間 ⑤ 0.6⇒1.03 ⑥・ARS工法による柱頭及び柱脚接合部を10か所補強 ・筋交い及び合板による耐力壁補強を6か所 業者一言 **フクビ化学工業（株）** ☎03-5742-6321 耐震補強時の重要ポイントである、柱の接合部を補強し、柱の引き抜けを防止します！
16	**SANJIKU耐震補強工法** SANJIKU耐震金物　施工中　外壁下地張り ・金物と筋交い・構造用合板による接合部補強と木造の特性をいかす複合効果で大きな耐震性能を実証 ・通し柱の接合部破壊による倒壊を防ぐ効果もあり	① 昭和56年築　② 104㎡ ③ 90万円（112万円）　④ 20日間 ⑤ 0.73⇒1.09（動的耐震診断値1.75以上） ⑥・外壁・内壁10か所に筋交いと構造用合板による耐力壁設置 ・SANJIKU耐震金物で土台・柱・はり・通し柱の接合部補強 ・動的耐震診断等で震度6弱で損傷なしの評点値を達成 業者一言 **（株）丸久** ☎0574-62-0025 欠陥があったため、想定地震対策で施工箇所を増やしました。
17	**ブーメラン工法** 後付けホールダウン金物　20~30KN同等品 ・ホールダウン金物、筋交い金物、接合部補強、後付アンカーボルト、増し基礎補強を実施	① 昭和50年築　② 155㎡ ③ 126万円(262万円)　④ 1か月 ⑤ 0.31⇒1.04 ⑥・柱脚・柱頭部に15KNブーメランホールダウン+筋交い金物を18か所取付け ・無筋基礎用金物で増し基礎補強実施 業者一言 **（株）ウエハラ** ☎048-523-3950 後付ホールダウンと筋交い金物を複合させた防災協会認定品
18	**基礎補強「トウグリッド工法」**  ・無筋基礎や劣化した基礎を RC 基礎並みに補強 ・狭隘(あい)箇所での施工が可能で、工期、コストを縮減	① 昭和52年築　② 187.4㎡ ③ 127万円(基礎のみ)　④ 3日間 ⑥・基礎補強50.8m、H=300mm 1)既設仕上げモルタルはつり 2)トウグリッド(FRP格子筋)をアンカーピンで取付け 3)ポリマーセメントモルタルを被覆 業者一言 **新日鉄住金マテリアルズ(株) コンポジットカンパニー** ☎03-5623-5558 短工期：最短3日間～ 経済性：2.5万円/m～　施工性：狭隘(あい)現場可

①事例の築年数　②延べ面積　③耐震改修工事費（全体工事費）　④工期　⑤評点（改修前→後）　⑥事例の改修内容

★日本建築防災協会の評価取得有

5 ポール、ワイヤー等による補強

No.	名称・特徴	事例の概要
19	**剛心アーム(製鉄支柱とワイヤーを使った工法)** 剛心アーム本体　剛心アーム本体からのワイヤーの引込み　建物のバランスとる金物 ・剛心アーム本体を地中に 1.3m 以上コンクリートで埋め込み、随所に地震力を逃し、ワイヤーで建物の変形を防止	① 昭和43年築　② 88㎡ ③ 96万円(108万円)　④ 6日間 ⑤ 0.4⇒0.89（評点1.0以上の改修も可能） ⑥ 総２階の建物で剛心アーム４本設置、増築を繰り返し、桁、はり、柱の接合部がくぎ、かすがい程度のため、新素材、特注金具(1 階天井裏にワイヤー(計 35m))を使い補強 ※在来改修見積が 386 万　新工法で半分以下で補強 業者一言　**東北テクニカルワーク（株）**　☎03-5348-2855 当工法は新工法初、国交省の独身寮の補強を行いました。 また、震度6強の直下型地震を経験
20 ★	**ガンコモンG1、G2** ・ガンコモンＧ１ 外廻りは合板コルセットで固定 ・ガンコモンＧ２ 開口部は鉄骨フレームで補強 室内工事ほとんどなし	① 昭和48年築　② 128㎡ ③ 140万円　④ 2週間 ⑤ 0.47⇒1.00 ⑥・１階下部と１･2階の境目の建物外周各部にガンコモンG1を取付け ・南側開口部にガンコモンG2を取付け 業者一言　**（株）Ｆ設計**　☎03-6272-5347 外から補強で同時にイメージチェンジ

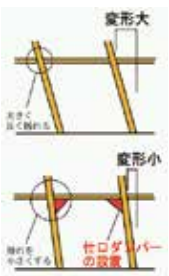
6 フレーム補強

No.	名称・特徴	事例の概要
21 ★	**アルミニウム合金製木造住宅用耐震枠** ・窓や出入口の周りに、金属製の枠を建物の外から取り付けて補強 ・室内工事がほとんどない	① 昭和40年築　② 71㎡ ③ 126万円(170 万円)　④ 2日間 ⑤ 0.53⇒1.00 ⑥ 窓周りにアルミニウム合金製木造住宅用耐震枠を３か所取付け 業者一言　**(一般社団法人)カーテンウォール・防火開口部協会**　☎03-3500-3891 室内からの工事がほとんどない。

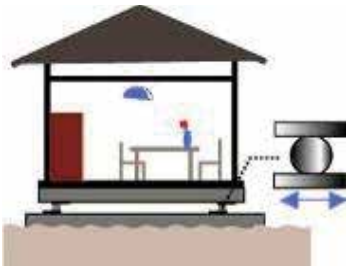
7 シェルター補強

No.	名称・特徴	事例の概要
22	**地震 TBシェルター「不動震DX」** ・鋼鉄製の部材を１階の一部屋に組み込んで建物を補強 ・鉄骨と木造を金物で固定 	① 昭和62年築　② 111㎡ ③ 335万円　④ 約2週間 ⑤ 0.38⇒1.10 ⑥ 既存の天井と床を解体し、耐圧コンクリートベタ基礎を打設し、鋼鉄製の鉄骨シェルターを設置して木造と固定後内装を仕上げて完成 業者一言　**東武ボウサイ（株）**　☎048-748-3838 住みながらにして耐震補強ができます。

①事例の築年数　②延べ面積　③耐震改修工事費（全体工事費）　④工期　⑤評点（改修前→後）　⑥事例の改修内容
★日本建築防災協会の評価取得有

No.	名称・特徴	事例の概要
23 ★	**制震金具パワーガードによる耐震改修工法** ・柱・はりの接合部に地震の揺れを吸収する金物を取り付けて補強 ・壁を壊さずに補強可能	① 昭和54年築　② 110㎡ ③ 139万円　④ 約10日間 ⑤ 0.59⇒1.06 ⑥・梁、柱の接合部にパワーガードを16か所取付け ・小屋裏、床下の接合部を金物で補強 ・蟻害で腐朽した床下の部材を交換 （その他、床フローリング張替え） 業者一言：**(株)サカエ【連絡先(株)こもだ建総】☎048-684-8888** （財）日本建築防災協会による住宅等防災技術評価を受けました。
24	**木造軸組補強工法「仕口ダンパー」**  ・柱とはりの接合部に地震の揺れを吸収する金物を取り付けて補強。壁を造らずに補強可能	① 昭和48年築　② 128㎡ ③ 88万円（132万円）　④ 14日間 ⑤ 0.51⇒1.02 ⑥ 仕口ダンパーを43か所、壁に構造用合板を５か所、合板取付箇所の柱頭柱脚に金物を取付け （その他、サンデッキ補修、クロス張替え） 業者一言：**（株）アンデン東京　☎03-5942-8575** 生活しながらの工事が可能で、工期も短い。
25	**MGEO-R制震工法** ・複合テコの原理を応用した制震耐力壁 ・地震による建物の変形が小さい場合でも、粘弾性ダンパーが地震のエネルギーを効率的に吸収	① 昭和58年築　② 122㎡ ③ 345万円（464万円）　④ 1か月 ⑤ 0.71⇒1.00 ⑥・制震装置（MGEO･R）を４か所取付け ・構造用合板による壁補強６か所 （その他、外壁塗装、クロス張替え） 業者一言：**ミサワホーム（株）　☎03-3349-8136** 建物の揺れ幅を最大約1/2に軽減 震災後の補修費を最小限に抑えます。
26 ★	**制震テープ工法** 制震テープ 制震テープ施工 構造用合板施工 ・エネルギー吸収する制震テープを柱に貼るだけの簡単施工、飛躍的に耐震性能を向上可能	① 昭和54年築　② 124㎡ ③ 152万円　④ 5日間 ⑤ 0.21⇒1.07 ⑥・既存の内壁･外壁に制震テープを合計15か所取付け ・制震テープ取付位置に構造用合板を取付け 業者一言：**アイディールブレーン（株）　☎03-5541-7600** 地震エネルギーを吸収して耐震改修！ 建築防災協会の評価取得済

①事例の築年数　②延べ面積　③耐震改修工事費（全体工事費）　④工期　⑤評点（改修前→後）　⑥事例の改修内容
★日本建築防災協会の評価取得有

No.	名称・特徴	事例の概要
27	**IAU型免震改修工法**  ・基礎から上の建物をジャッキで持ち上げ、地震の揺れを建物に伝えない装置を建物と基礎の間に設置 ・建物本体の改修が不要	① モデル住宅　② 96㎡ ③ 890万円　④ 40日～2か月 ⑥・既存住宅の土台から上を持ち上げ、土台と基礎の間に免震装置及び免震用架台を設置 業者一言 **IAU plus（株）**　**☎03-6869-9626** 高性能・低コスト免震を居ながら施工で実現

①事例の築年数　②延べ面積　③耐震改修工事費（全体工事費）　④工期　⑤評点（改修前→後）　⑥事例の改修内容
★日本建築防災協会の評価取得有

装置部門

１ベッドを安全空間にするシェルター

No.	名称・特徴	事例の概要
28	**耐圧ベッドルーム型シェルター** ・鋼製フレームによりベッドルーム型のシェルターを設置 ・寝ている人の身を住宅の倒壊から守る ・設置は1階に限定	① 50万円（都内送料込、工事費５万円） ② 耐荷重　10トン ③・鋼製フレームとパンチパネルにより構成 ・既存ベッドを利用可能（介護ベッド可） ・設置場所にて組み立てる（約２・３時間）ため、搬入が容易 ・幅2.3m×奥1.15m×高1.95m 業者一言：**（株）エヌ・アイ・ピー**　**☎03-3823-6220** 就寝中の不安を取り除き、安眠を確保 地震発生時のガラス片や木片の侵入もシャットアウト

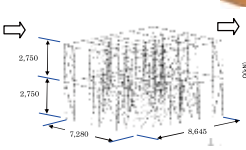
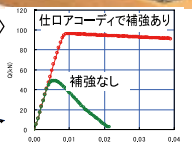
２部屋の一部を安全にするシェルター

No.	名称・特徴	事例の概要
29	**耐震 TB シェルター「鋼耐震」** ・鉄骨部材を組み込んで１階の一部屋を丸ごと補強 ・既存の天井は除去しないで設置が可能 	① 143万円より（3帖タイプ内装仕上げ込み） ② 耐荷重　100ｔ以上（1畳タイプ　鉛直荷重時） ③ 既存の天井と床を解体し、鉄筋コンクリートベタ基礎を打設、鋼鉄製シェルターを組み立てる。 内装を仕上げて完成 業者一言：**東武ボウサイ（株）**　**☎048-748-3838** 安心　安全！突然起こる巨大地震から家族を守ります！ 家屋が倒壊してもこの部屋だけは安全です。

①設置費用　②耐重量　③事例の概要

その他（アイディア部門）

※選定時に実績がなかった工法や装置をアイディアとして紹介しているものです。詳細は各業者にお問合せください。

No.	名称・特徴	事例の概要
30	**アコーディ** ・実験により、アコーディの地震耐力を確認 ・コンピューターソフトでアコーディの効果を解析   	・さびに強い ステンレスを用いた仕口金物 ・揺れを抑える効果 ・蛇腹部の伸び・縮みが粘りを発揮 ・家屋の倒壊の防止 ・開口部（窓）の補強 業者一言 **岡部（株）戸建部材販売グループ** ☎03-3624-5401 Ecoで耐震を強化できる。
31	**品川シェルター** 格子状の木材が地震エネルギーを吸収することに着目した壁補強事例を提案	木材を格子状に組み、既存建物の内壁に取り付けて補強 ・住みながらの工事が可能 ・工期は1～2日を想定（6畳の内壁設置工事の場合） ・基礎の補強は不要 ・地元業者による施工が可能（マニュアルによる） 業者一言 **品川区防災まちづくり事業部防災課** ☎03-5742-6634
32	**防災ベッド（ファンタジア）** ・ベッド自体が強度をもつ省スペースの防災ベッド ・普段の生活に溶け込むデザインと居住性	・パネルは格子状で金具が留めやすく、3～4人で組立て可能 ・重量があるので床の補強が必要 ・床板の高さを 3cm ピッチで調整できるので使用する人の快適な高さに調節可能 ・使う人の好みに装飾可能 業者名 **チーム・ファンタジア（子育て住環境研究会）** ☎045-401-2065 幅広いサイズに対応できるベッドなので大人から子供まで守れます。
33	**動的耐震診断を用いた耐震改修コンサルタント** ・非破壊で正確な耐震診断が約1時間で可能 ・安価で確実な耐震補強工事が実施可能	・地盤と 2 階の床に地震計を設置して直交する 2 方向の振動を測定・解析し、耐震性能評価指数を算出 ・工事後にも動的耐震診断を実施し、耐震補強施工の効果を定量的に数値で確認可能 ・2×4の3階建ても安価に診断可能 ・雑壁や目視で確認できない耐力壁も正確に評価可能 業者一言 **日本レトロフィット（株）** ☎03-5811-5654 客観的で正確な診断法を利用して安価で確実な耐震補強を提案します。

No.	名称・特徴	事例の概要
34	**いなし型耐震補強工法** 原型モデル ↑アーチ型フレームの「いなし型補強」 ←外部設置のアーチ型フレームイメージ 補強効果：いなし効果で軸組木造の変形に追従 工法特性：開口機能を損なわず後付設置できる	・繊維補強等の軽量アーチ部材による補強手法 ・古民家や狭間口住宅、町家に無理なく利用可 ・居住中の家屋でも扱いやすい施工性と汎用性 ・いなし効果の部材実験と簡易構造解析を完了 業者一言：**木造耐震・防火研究会** ☎03-3504-1766 資金はなくても、心意気で、一緒に地道に取り組めるパートナーを募っております。
35	**タスカル防災テーブル** 緊急時 通常時テーブル ・テーブルの脚を地盤まで伸ばすことにより、テーブル下部を安全な空間とし、急な地震でも家屋等の倒壊から命を守り被害を軽減することが可能	・設置個所の１階床を一部解体し、床下地盤にテーブルの基礎架台を施工 ・テーブルの脚を基礎架台に固定し天板を取り付け ・上部の加重は約５０ｔで２階建て住宅倒壊にも耐える 業者一言：**フジワラ産業（株）** ☎06-6586-3388 日常生活の避難場所として防災テーブルが注目されています！

●平成26年度に選定された事例

	No.	建防協評価	工　法　名	会　社　名	電　話	E メール	HP　URL	ページ番号
耐震改修工法	1	☆	グランデータ・ドラゴン・ウォール工法（略称　GDW 工法）	グランデータ（株）	042-523-7800	info@gurandate.co.jp	http://www.grandata.co.jp/	11
	2	☆	透光型耐力壁「パンチくん」	旭トステム外装（株）	0570-001-117	HP の「お問合せ」をご利用ください	http://www.asahitostem.co.jp	11
	3	☆	木造 SRF 壁補強工法	構造品質保証研究所（株）	03-5214-3431	square@sqa.co.jp	http://www.sqa.co.jp	12
	4	☆	TYFO® 工法 ハウスディフェンダー壁用（TYFO　SEH-W-W 工法）	ファイフ・ジャパン（株）	03-6457-1910	tyfo@fyfejapan.com	http://www.fyfejapan.com	12
	5		アングルプレートブロック（スチールパネル）	（株）東武防災建設	048-970-3530	mail@tobubousai.com	http://www.tobubousai.com	13
	6		GD ブレース工法	グランデータ（株）	042-523-7800	info@gurandate.co.jp	http://www.grandata.co.jp/	13
	7	☆	木造 SRF 接合部補強工法	構造品質保証研究所（株）	03-5214-3431	square@sqa.co.jp	http://www.sqa.co.jp	14
	8		TYFO® 工法 ハウスディフェンダー基礎補強	ファイフ・ジャパン（株）	03-6457-1910	tyfo@fyfejapan.com	http://www.fyfejapan.com	14
	9	☆	Hi ダイナミック制震工法	江戸川木材工業（株）・日立オートモティブシステムズ（株）	03-3521-3190	gensin@edogawamokuzai.co.jp	http://www.edogawamokuzai.co.jp	15
	10		粘弾性体を用いた「ガラス制振壁」	AGC 硝子建材（株）	03-5875-9348	mitsuo-fukuda@agc.com	工事会社　http://www.agc-gk.com/ 商品説明 http://www.obayashi.co.jp/service_and_technology/related/tech035	15
装置	11		耐震ベッド・シェルター「ウッド・ラック」（WOOD-LUCK）	新光産業（株）	03-3251-2055	info@shinkosangyo.co.jp	http://www.shinkosangyo-as.com	16
	12		耐震シェルター レスキュールーム	（有）ヤマニヤマショウ	0120-88-2420	info@rescueroom.main.jp	http://rescueroom.main.jp/	16
	13		～住居内の安心できる避難場所「！逃げ込め」～ シェルターユニットバス（UB）	J 建築システム（株）	011-573-7779	jas1@j-kenchiku.co.jp	http://www.j-kenchiku.co.jp	17

問合せ先

●平成25年度に選定された事例

	No.	建防協評価	工法名	会社名	電話	Eメール	HP URL	ページ番号
耐震改修工法	1	☆	タイガーグラスロック耐震壁（内壁用）工法	吉野石膏（株）商品開発部	03-5156-0058	nprd@yoshino-gypsum.com	http://www.yoshino-gypsum.com/	18
	2	☆	面材補強壁ガーディアン・ウォール	（株）住宅構造研究所	048-999-1555	hl@homelabo.co.jp	http://www.homelabo.co.jp	18
	3	☆	ダイライト耐震かべ「かべ大将」	大建工業（株）	0120-787-505	HPの「お問合せ」をご利用ください	https://www.daiken.jp/form/fid007.html	19
	4	☆	壁補強キット「かべつよし」「モイスかべつよし」	エイム（株）	048-224-8160	shimada@aimkk.com	http://www.aimkk.com/	19
	5	☆	耐震改修面材『あんしん』　かべ強化	ニチハ（株）市場開発部	03-5205-3916	ＳＩＪＯ-K@nichiha.co.jp	http://www.nichiha.co.jp	20
	6		コボットステンブレースシステム工法	（株）国元商会　東京支店	03-3252-8001	tokyo@kunimoto-s.co.jp	http://www.kunimoto-s.co.jp	20
	7	☆	筋かい補強壁ガーディアン・シールド（鋼製ブレース）	（株）住宅構造研究所	048-999-1555	hl@homelabo.co.jp	http://www.homelabo.co.jp	21
	8	☆	ウッドピタブレース工法	（株）ピタコラム	0120-260-220	info_pita@yahagi.co.jp	http://www.pita.co.jp	21
	9	☆	ウッドピタフレーム工法	（株）ピタコラム	0120-260-220	info_pita@yahagi.co.jp	http://www.pita.co.jp	22
	10	☆	木造ＳＲＦ基礎補強工法	構造品質保証研究所（株）	03-5214-3431	square@sqa.co.jp	http://www.sqa.co.jp	22
	11		ＪＢＲＡ（ジャブラ）-１システム	Ｊ建築システム（株）	011-573-7779	jas1@j-kenchiku.co.jp	http://www.j-kenchiku.co.jp	23
	12	☆	柱脚用耐震補強金物「シェイクブロック」	（株）土屋ホームトピア	03-3707-5422	r-koshio@hometopia.co.jp	http://www.hometopia.jp	23
	13	☆	耐震ポール工法	（株）シーク建築研究所	045-780-1155	i-shec2@i-shec.jp	http://i-shec.jp	24
	14	☆	建物のバランスを考慮した命の耐震窓「Ｊ－耐震開口フレーム」	Ｊ建築システム（株）	011-573-7779	jas1@j-kenchiku.co.jp	http://www.j-kenchiku.co.jp	24
	15	☆	制振補強壁ガーディアン・フォース	（株）住宅構造研究所	048-999-1555	hl@homelabo.co.jp	http://www.homelabo.co.jp	25
装置	16		介護用防災フレーム	（株）ニッケン鋼機	0545-73-0652	hsaitou@ns-kouki.co.jp	http://www.ns-kouki.co.jp	25
	17		防災ベッド　標準型ＢＢ－００２	（株）ニッケン鋼機	0545-73-0652	hsaitou@ns-kouki.co.jp	http://www.ns-kouki.co.jp	26
	18		安心防災ベッド枠Ａ	フジワラ産業（株）	06-6586-3388	info@fj-i.co.jp	http://www.fj-i.co.jp	26
	19		安心防災ベッド枠Ｂ	フジワラ産業（株）	06-6586-3388	info@fj-i.co.jp	http://www.fj-i.co.jp	27
	20		木質耐震シェルター	（株）一条工務店	0120-422-231	t-shelter@ichijo.co.jp	http://ichijo.jp	27
	21		木造軸組耐震シェルター「剛建」	(有)宮田鉄工	0587-37-1569	miyata@taishin-shelter.co.jp	http://www.taishin-shelter.co.jp/	28
	22		シェル太くん工法	（株）ヤマヒサ	0120-36-1374	ホームページの専用お問い合わせフォーム	http://www.yamahisa.co.jp/	28
	23		シェルキューブ	（株）デリス建築研究所	03-3287-2011	info@delis-archi.co.jp	http://www.delis-archi.co.jp	29
	24		耐震シェルター「安全ボックス」	（株）アップルホーム	045-943-8822	good-hope@apples-home.co.jp	http://www.apples-home.co.jp	29

●平成17年度から平成21年度に選定された事例

	No.	建防協評価	工法名	会社名	電話	Eメール	HP URL	選定年度	ページ番号
耐震改修工法	1		荒壁パネルによる耐震補強工法	（株）アンデン東京（製造元（株）丸浩工業）	03-5942-8575	mail@anden-tokyo.co.jp	http://www.anden-tokyo.co.jp	21	30
	2	☆	耐震補強工法「AT-WALL 壁王」	旭トステム外装（株）	0570-001-117	HPの「お問合せ」をご利用ください	http://www.asahitostem.co.jp	21	30
	3		採光壁（ポリゴン FRP 板）	東北テクニカルワーク（株）東京設計室	03-5348-2855	to@totech.jp	http://www.totech.jp	17	30
	4		SDU 工法	イーメタル（株）	0566-36-1738	info@e-mt.co.jp	http://www.e-mt.co.jp	17	30
	5		「ひかりかべ」	AGC マテックス（株）	03-5541-6102	hikarikabe@agm.co.jp	http://www.agm.co.jp	18	30
	6	☆	透光型壁補強キット「ひかりかべつよし」	エイム（株）・AGC マテックス（株）	048-224-8160	shimada@aimkk.com	http://www.aimkk.com/	18	31
	7	☆	垂壁・腰壁補強キット「モイスまどつよし」	エイム（株）	048-224-8160	shimada@aimkk.com	http://www.aimkk.com/	19	31
	8		ML 耐震補強工法	(株)匠建築	03-6805-9671	info@naru.co.jp	http://www.naru.co.jp/	19	31

	No.	建防協評価	工　法　名	会　社　名	電　話	E メール	HP　URL	選定年度	ページ番号
耐震改修工法	9		ホームウェルハードロックⅡ	(株)　LIXIL リフォーム推進部	03-6273-3648	homewell6@lixil.co.jp	http://www.homewellfc.com/	17	31
	10		パワーウォール外付耐力壁工法	(株) ケアンズ･コーポレーション	03-3559-7339	info@dsg.gr.jp	http://www.dsg.gr.jp	20	32
	11		安心ちから壁	(株) 田中工務店	03-3814-7891	tnk-const@mti.biglobe.ne.jp	http://www5a.biglobe.ne.jp/~tnk-cons	17	32
	12	☆	耐震 LaZo 工法	(株) カネシン	03-3696-6781	csc@kaneshin.co.jp	http://www.kaneshin.co.jp	21	32
	13	☆	耐震補強三角火打金物	耐震補強研究所 (株)	048-462-9574	safety-h@siren.ocn.ne.jp	http://taishin.bz/	17	32
	14	☆	スリミン REP 工法	住友林業ホームテック (株)	0120-5-46109	ht-info@ht.sfc.co.jp	http://www.sumirin-ht.co.jp/	17	33
	15		ARS 工法	フクビ化学工業 (株)	03-5742-6321		http://www.fukuvi.co.jp	17	33
	16		SANJIKU 耐震補強工法	(株) 丸久	0574-62-0025	info@t-sanjiku.jp	http://www.t-sanjiku.jp	19	33
	17	☆	ブーメラン工法	(株) ウエハラ	048-523-3950	m-uehara@ueharasteel.co.jp	http://www.ueharasteel.co.jp	20	33
	18	☆	基礎補強「トウグリッド工法」	新日鉄住金マテリアルズ(株) コンポジットカンパニー	03-5623-5558	a-tooyama@nck.nsmat.co.jp	http://www.nck.nsmat.co.jp	20	33
	19		剛心アーム (製鉄支柱とワイヤーを使った工法)	東北テクニカルワーク(株) 東京設計室	03-5348-2855	to@totech.jp	http://www.totech.jp	17	34
	20	☆	ガンコモン G1、G2	(株) F 設計	03-6272-5347	info@fsekei.com	http://www.fsekei.com	17	34
	21	☆	アルミニウム合金製木造住宅用耐震枠	(一般社団法人) カーテンウォール・防火開口部協会	03-3500-3891	kuboki1@cw-fw.or.jp	http://www.jsma.or.jp	17	34
	22		地震 TB シェルター「不動震 DX」	(株) 東武防災建設【発売元：東武ボウサイ (株)】	048-748-3838	toububousai@tb-shelter.co.jp	http://www.tb-shelter.co.jp	17	34
	23	☆	制震金具パワーガイドによる耐震改修工法	(株) サカエ【連絡先 (株) こもだ建総】	048-684-8888	re@komodakensou.co.jp	http://www.komoda-reform.jp	17	35
	24		木造軸組補強工法「仕口ダンパー」	(株) アンデン東京	03-5942-8575	mail@anden-tokyo.co.jp	http://www.anden-tokyo.co.jp/	17	35
	25		MGEO-R 制震工法	ミサワホーム (株)	03-3349-8136	hg_suishin@home.misawa.co.jp	http://www.misawa.co.jp/reform/	18	35
	26	☆	制震テープ工法	アイディールブレーン (株)	03-5541-7600	info@ibrain.jp	http://ibrain.jp	20	35
	27		IAU 型免震改修工法	IAU plus (株)	03-6869-9626	mail@iauplus.jp	http://www.iauplus.jp/	17	36
装置	28		耐圧ベッドルーム型シェルター	(株) エヌ・アイ・ピー	03-3823-6220	t_uono@bbk-nip.jp	http://www.bbk-nip.jp	19	37
	29		耐震 TB シェルター「鋼耐震」	(株) 東武防災建設【発売元：東武ボウサイ (株)】	048-748-3838	toububousai@tb-shelter.co.jp	http://www.tb-shelter.co.jp	19	37
アイディア	30		アコーディ	岡部 (株) 戸建部材販売グループ	03-3624-5401	HP お問い合わせホームからご連絡ください	http://okabe.co.jp	21	38
	31		品川シェルター	品川区防災まちづくり事業部防災課	03-5742-6634	bosai@city.shinagawa.tokyo.jp	http://www.city.shinagawa.tokyo.jp/	20	38
	32		防災ベッド (ファンタジア)	チーム・ファンタジア (子育て住環境研究会) 代表：柏原雪子	045-401-2065	Kashiwabara.yuki@gmail.com		20	38
	33		動的耐震診断を用いた耐震改修コンサルタント	日本レトロフィット (株)	03-5811-5654	info@retrofit.co.jp	http://www.retrofit.co.jp/	19	38
	34		いなし型耐震補強工法	木造耐震・防火研究会	03-3504-1766	kobata@ued.or.jp		19	39
	35		タスカル防災テーブル	フジワラ産業 (株)	06-6586-3388	info@fj-i.co.jp	http://www.fj-i.co.jp/	19	39

耐震改修工事とリフォーム

耐震改修工事を省エネ化やバリアフリー化など、内外装材をはがすことが多いリフォーム工事の機会に合わせて実施することで、工事費用や工事期間、施工の面で効率的、合理的、経済的に進めることができます。省エネ化やバリアフリー化などのリフォーム工事の機会に合わせた耐震改修工事の事例を紹介します。

＜リフォームと耐震補強工事の関係＞

耐震補強の要素 ＼ リフォーム種類	A 壁の補強・つり合い良い配置（耐力壁面材・筋交いの設置等）	B 接合部の補強（筋交い端部・柱頭柱脚接合部の補強）	C 基礎の補修・補強（ひび割れの補修、無筋コンクリートの補強等）	D 水平構面等の補強（床・屋根面に構造用合板設置、火打ち梁設置等）	E 腐朽・蟻害への対応（腐食した柱・土台の補強・交換、腐食防止対策等）	F 住宅の軽量化等
① 省エネルギーリフォーム	○	○	—	○	○	—
② 水周りのリフォーム	○	○	○	○	○	—
③ 屋根の葺替え	—	—	—	○	○	○
④ 外観デザインのリフォーム	○	○	○	—	○	○
⑤ インテリアのリフォーム	○	○	○	○	○	—
⑥ 間取り変更	○	○	○	○	○	—

○：耐震補強を行いやすい耐震要素

（財団法人　日本建築防災協会発行「木造住宅の耐震補強の実務」から抜粋）

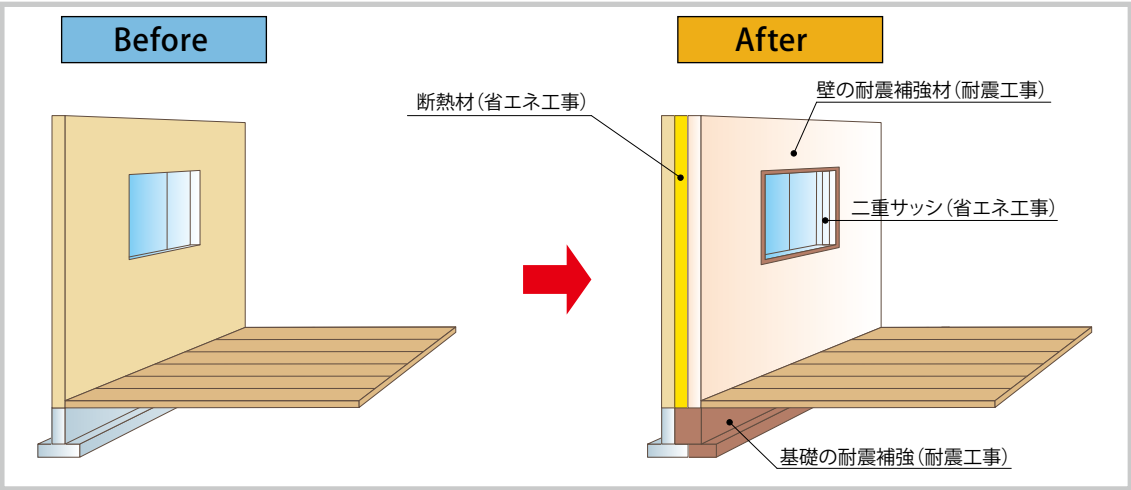
Before

After

耐震改修とリフォームを同時に行った事例
（写真提供：住友林業ホームテック）

○省エネルギーリフォームに合わせた耐震改修工事

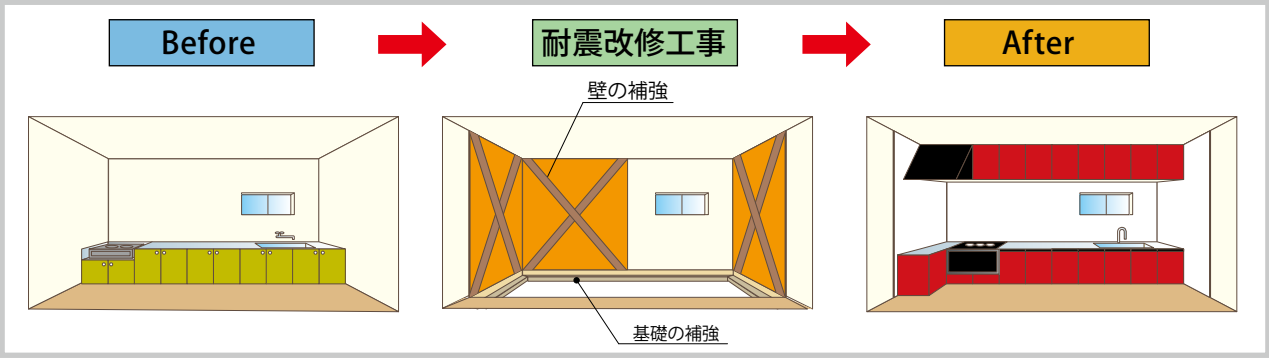
外壁の窓の断熱性を向上させるなど、省エネルギーリフォームでは、外壁や窓の一部を撤去します。この工事に合わせて耐震改修工事を行うことで、耐震性も向上させることができます。



省エネルギーリフォームと耐震改修工事を同時に行った事例

○水周りのリフォームに合わせた耐震改修工事

キッチンや浴室など水周りのリフォーム工事では、床や内壁の一部を撤去します。この工事に合わせて耐震改修工事を行うことで、水周りが機能的で美しくなるだけでなく、建物の耐震性も向上させることができます。



キッチンのリフォームと耐震改修工事を同時に行った事例

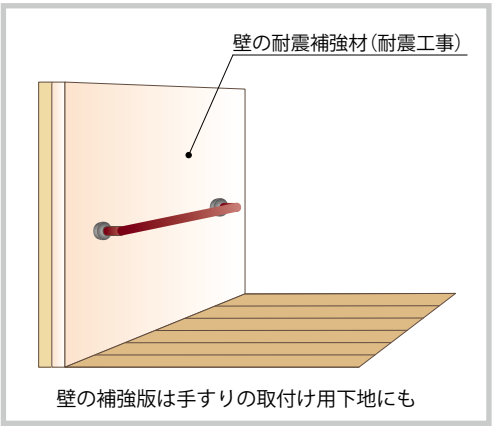
○屋根や外壁など外装材のリフォーム工事に合わせた耐震改修工事

屋根や外壁など外装材のリフォーム工事では、屋根や外壁の一部を撤去します。この工事に合わせて屋根の軽量化や外壁の強度の強化を行うことで、建物が美しくなるだけでなく、耐震性も向上させることができます。

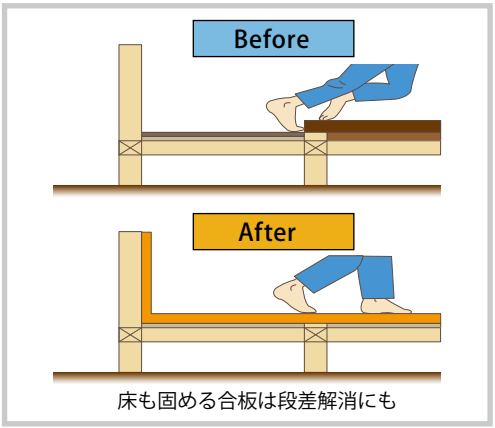
屋根の軽量化を行った事例（写真提供：飯田工務店）

○バリアフリーリフォームに合わせた耐震改修工事

手すりや段差解消など、バリアフリー化の工事では、床や内壁の一部を撤去します。この工事に合わせて耐震改修工事を行うと、合理的に工事を実施できます。



壁の補強版は手すりの取付け用下地にも



床も固める合板は段差解消にも

★東京都耐震マーク表示制度

耐震性のある都内全ての建築物を対象に耐震マークを交付します。

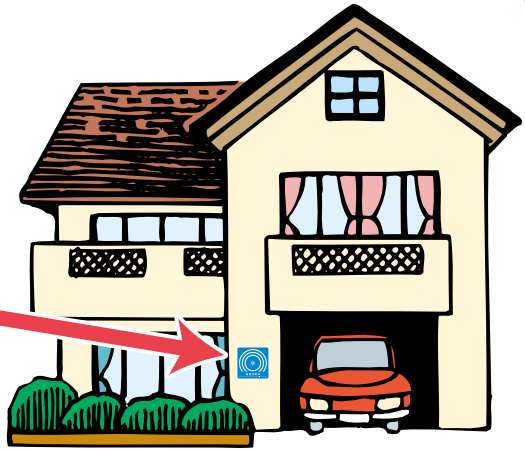
東京都では、建築物の耐震性に関する情報が広く提供され、都民が安心して建築物を利用することができるよう、「東京都耐震マーク表示制度」を実施しています。

この制度は、耐震基準に適合していることが確認された東京都内の建築物に対し、「東京都耐震マーク」を無料で交付し、建築物の入口等見やすい場所に表示していただくものです。

東京都耐震マーク表示制度　検索

東京都耐震マークの表示例

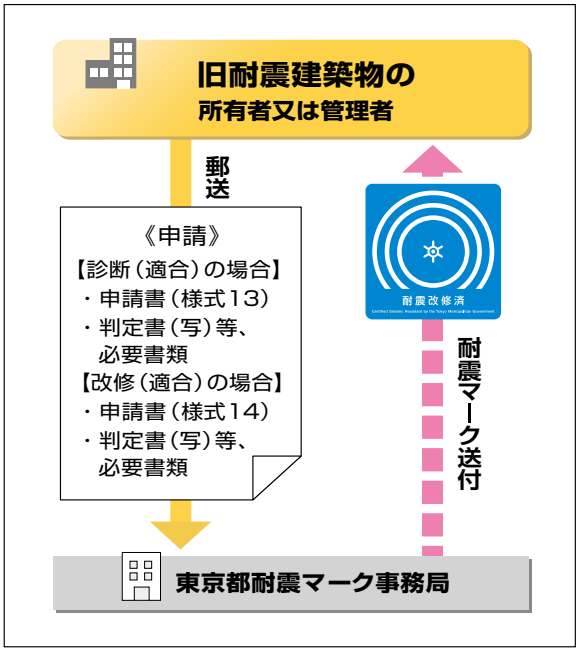
東京都耐震マーク



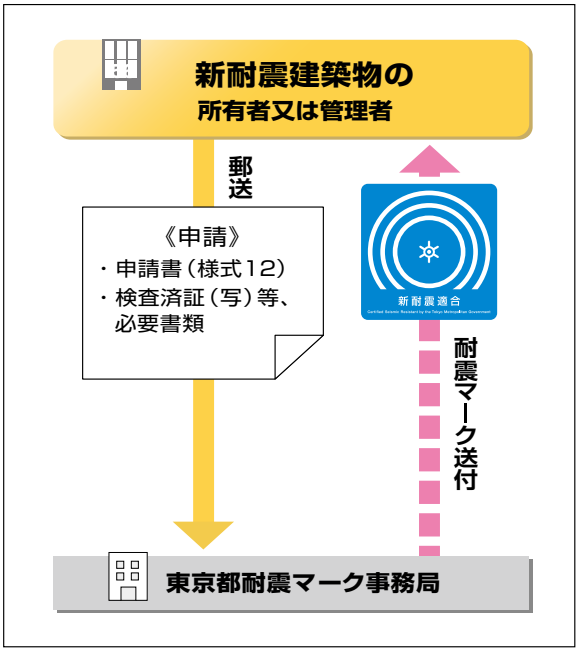
※旧耐震建築物で耐震基準への適合が確認された建築物の場合は「耐震診断済」、旧耐震建築物で耐震改修により耐震基準への適合が確認された建築物の場合は「耐震改修済」の表記になります。

東京都耐震マーク交付の流れ

旧耐震建築物の場合
（昭和56年5月以前に新築の工事に着工したもの）



新耐震建築物の場合
（昭和56年6月以降に新築の工事に着工したもの）



東京都耐震マーク事務局 ☎03-5466-2023

税制上の優遇措置（平成26年8月1日 現在）

耐震改修を実施した場合に、次のような税制上の優遇措置を受けられる場合があります。工事を検討する際には、あらかじめ対象工事の要件や必要書類・手続について、それぞれのお問合せ先へ確認してください。

固定資産税・都市計画税

● 耐震改修工事を行った住宅の固定資産税の減額

（地方税法附則 15 条の 9 第 1 項から第 3 項まで）

昭和57年1月1日以前から所在する住宅について、平成25年1月1日から平成27年12月31日までの間に一定の耐震改修工事を行った場合、以下の期間、当該住宅に係る固定資産税額の1／2が減額（居住部分で1戸当たり120㎡の床面積相当分までを限度）されます。改修工事が完了した日から、3か月以内に申告が必要です。

平成 25 年 1 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日工事完了：1 年度分

※当該住宅が当該耐震改修の完了前に通行障害既存耐震不適格建築物であった場合には、翌年度から2年度分

★その他の要件等のお問合せ先

住宅の所在する各市町村の税務担当課又は住宅の所在する区にある都税事務所固定資産税課固定資産税係

● 建替え又は耐震改修工事を行った住宅に係る固定資産税・都市計画税の減免（23区内）

（耐震化のための建替え又は改修を行った住宅に対する固定資産税及び都市計画税の減免要綱）

（建替え）

昭和57年1月1日以前から所在する家屋を取り壊し、当該家屋に代えて、平成21年1月2日から平成27年12月31日までの間に住宅を新築し、一定の要件を満たす場合、新築後新たに課税される年度から3年度分、当該住宅に係る固定資産税･都市計画税額の全額が減免されます。新築した年の翌々年の2月末までに申請が必要です。

（耐震改修）

昭和57年1月1日以前から所在する家屋について、平成27年12月31日までの間に一定の耐震改修工事を行った場合、以下の期間、当該住宅に係る固定資産税･都市計画税額の全額が減免（居住部分で1戸当たり120㎡の床面積相当分までを限度）されます。改修工事が完了した日から、3か月以内に申請が必要です。

平成 25 年 1 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日工事完了：1 年度分

※当該住宅が当該耐震改修の完了前に通行障害既存耐震不適格建築物であった場合には、翌年度から2年度分

★その他の要件等のお問合せ先

住宅の所在する区にある都税事務所固定資産税課固定資産税係

所得税

（租税特別措置法第41条の19の2）

昭和 56 年 5 月 31 日以前に建築された住宅の所有者が、平成 29 年 12 月 31 日までに一定の耐震改修を行った場合、耐震改修の時期により、標準的な工事費用相当額の10%相当額（25万円を上限）などが所得税から控除される場合があります。

★その他の要件等のお問合せ先…所轄の税務署

住宅の耐震診断・耐震改修・シェルター等 設置における助成制度の実施状況（平成26年7月1日時点）

地方公共団体名	木造助成		シェルター等助成	担当部署	連絡先
	診断	改修			
千代田区	○	○	○	まちづくり推進部建築指導課	03-5211-4310
中央区	○	○	○	都市整備部建築課	03-3546-5459
港区	○	○		街づくり支援部都市計画課	03-3578-2224
新宿区	○	○	○	都市計画部地域整備課	03-5273-3829
文京区	○	○	○	都市計画部建築指導課	03-5803-1264
台東区	○	○	○	都市づくり部建築課	03-5246-1335
墨田区	○	○		都市計画部防災まちづくり課	03-5608-6269
江東区	○	○	○	都市整備部建築調整課（診断・改修）	03-3647-9764
				福祉部高齢者支援課（防災ベッド（高齢者））	03-3647-4319
				福祉部障害者支援課（防災ベッド（障害者））	03-3647-4953
品川区	○	○	○	都市環境事業部都市計画課	03-5742-6634
目黒区	○	○	○	都市整備部建築課	03-5722-9490
大田区	○	○	○	まちづくり推進部都市開発課	03-5744-1349
世田谷区	○	○	○	都市整備部建築調整課	03-5432-2468
渋谷区	○	○	○	都市整備部まちづくり課	03-3463-2647
中野区	○	建替助成のみ実施	○	都市基盤部建築分野（診断・改修）	03-3228-5576
				都市基盤部防災・都市安全分野（シェルター）	03-3228-8930
杉並区	○	○	○	都市整備部まちづくり推進課	03-3312-2111
豊島区	○	○	○	都市整備部建築課	03-3981-0590
北区	○	○	○	まちづくり部建築課	03-3908-1240
荒川区	○	○	○	防災都市づくり部防災街づくり推進課用地・耐震化係	03-3802-4303
板橋区	○	○		都市整備部市街地整備課	03-3579-2554
練馬区	○	○	○	都市整備部建築課	03-5984-1938
足立区	○	○	○	都市建設部建築安全課	03-3880-5317
葛飾区	○	○	○	都市整備部建築課	03-5654-8552
江戸川区	○	○		都市開発部住宅課	03-5662-6387
八王子市	○	○	○	まちなみ整備部住宅政策課	042-620-7260
立川市	○	○	○	市民生活部住宅課住宅相談係	042-528-4384
武蔵野市	○	○		都市整備部住宅対策課	0422-60-1905
三鷹市	○	○		都市整備部まちづくり推進課	0422-45-1151
青梅市	○	○		都市整備部住宅課	0428-22-1111
府中市	○	○	○	都市整備部建築指導課	042-335-4173
昭島市	○	○	○	都市計画部都市計画課（診断・改修）	042-544-5111
				保健福祉部生活福祉課（シェルター）	
調布市	○	○		都市整備部住宅課	042-481-7545
町田市	○	○	○	都市づくり部建物住宅対策課	042-724-4269
小金井市	○	○		都市整備部まちづくり推進課	042-387-9861
小平市	○	○		市民生活部防災安全課	042-346-9519
日野市	○	○		まちづくり部建築指導課（診断）・都市計画課（改修）	042-585-1111
東村山市	○	○		まちづくり部都市計画課	042-393-5111
国分寺市	○	○		都市建設部都市企画課	042-325-0111
国立市	○	○		都市整備部都市計画課	042-576-2111
福生市	○	○		都市建設部まちづくり計画課	042-551-1952
狛江市	○	○		都市建設部まちづくり推進課	03-3430-1111
東大和市	○	○		都市建設部都市計画課地域整備係	042-563-2111
清瀬市	○	○	○	都市整備部まちづくり課	042-492-5111
東久留米市	○			都市建設部施設管理課建築営繕係	042-470-7777
武蔵村山市	○	○	○	生活環境部産業観光課	042-565-1111
多摩市	○	○		都市整備部都市計画課	042-338-6817
稲城市	○	○		都市建設部都市計画課	042-378-2111
羽村市	○	○		建設部建築課	042-555-1111
あきる野市	○	○		都市整備部都市計画課	042-558-1111
西東京市	○	○	○	都市整備部都市計画課	042-464-1311
瑞穂町	○	○	○	住民部地域課安全係	042-557-7610
日の出町	○	○		まちづくり課都市計画係	042-597-0511

※非木造住宅や木造アパートを含むかどうかは、各自治体に確認してください。

このパンフレットに関するお問合せ先

東京都　都市整備局　市街地建築部　建築企画課

〒163−8001　新宿区西新宿2−8−1　第二本庁舎3階南側

電話　03−5388−3362

登録番号(26)115

古紙パルプ配合率70%再生紙を使用しています

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

平成27年1月発行